

The background of the cover is a grid of colorful squares in shades of green, yellow, blue, purple, and orange. The top row consists of six squares: green, light green, light blue, yellow, light blue, and green. The rest of the cover is a larger grid of squares in various colors including purple, yellow, green, light blue, pink, orange, and light purple.

海外留学ブックレット

2018

首都大学東京 国際センター



海外留学 ブックレット

Study Abroad Handbook

CONTENTS

—海外留学ブックレット

1	協定校一覧	1
2	海外留学ロードマップ	2
3	留学ワークシート	4
4	留学の種類 ～首都大学東京の留学・私費留学について～	6
5	交換留学・協定校情報	8
6	派遣留学・協定校情報	26
7	海外短期研修	30
8	海外インターンシップ	32
9	その他の海外派遣プログラム	34
10	本学の経済支援と外部団体の奨学金について	35
11	留学前	36
12	留学中	39
13	留学後	40
14	参考情報	41
15	首都大学東京派遣実績	44
16	参考資料(首都大学東京留学生の派遣及び受入れに関する要綱)	46

協定校一覧

交換留学

インドネシア

- ◆ビナス大学

韓国

- ◆ソウル市立大学校
- ◆漢陽大学校
- ◆金烏工科大学
- ◆仁川大学校
- ◆全南大学校
- ◆中央大学校

タイ

- ◆タマサート大学
- ◆チュラロンコン大学
- ◆マヒドン大学

台湾

- ◆国立清華大学
- ◆国立台湾師範大学
- ◆国立東華大学
- ◆中国文化大学
- ◆天主教輔仁大学

中国

- ◆華南理工大学
- ◆吉林大学
- ◆首都師範大学
- ◆華東政法大学
- ◆香港城市大学人文社会科学学院

マレーシア

- ◆マラヤ大学
- ◆マレーシア国民大学

イギリス

- ◆アバディーン大学
- ◆キール大学
- ◆ノーサンブリア大学
- ◆バンガー大学
- ◆レスター大学

イタリア

- ◆ローマ大学・トルヴェルガータ校

オーストリア

- ◆ウィーン大学

オランダ

- ◆ロッテルダム専門大学

スウェーデン

- ◆ウメオ大学

スペイン

- ◆ア・コルーニャ大学
- ◆アルカラ大学

ドイツ

- ◆カイザースラウテルン大学
- ◆コブレンツ専門大学
ビジネス経営学部

- ◆バイロイト大学

ノルウェー

- ◆サウスイースト・ノルウェー大学

ハンガリー

- ◆オーブダ大学

フィンランド

- ◆ユバスキュラ大学

フランス

- ◆リール大学
- ◆レンヌ第二大学

ポーランド

- ◆ヴロツワフ大学

リトアニア

- ◆シャウレイ大学

ロシア

- ◆トムスク工科大学
- ◆トムスク国立大学

オーストラリア

- ◆エディス・コーワン大学
- ◆ニューカッスル大学
- ◆マッコリー大学

トルコ

- ◆サバンチ大学
- ◆ヤシャル大学

アメリカ

- ◆イースタン・ワシントン大学
- ◆ウィスコンシン大学
グリーンベイ校
- ◆ニューヨーク州立大学
オニオンタ校
- ◆マーレイ州立大学

カナダ

- ◆セント・メアリーズ大学
- ◆ニューファンドランド
メモリアル大学
- ◆レジャイナ大学

派遣留学

アメリカ

- ◆カリフォルニア大学
リバーサイド校
- ◆ボストン大学
メトロポリタンカレッジ

カナダ

- ◆マニトバ大学

イギリス

- ◆ロンドン大学
アジア・アフリカ学院
- ◆バーミンガム大学
- ◆ノッティンガム大学
- ◆ヨーク大学

短期研修

イギリス

- ◆ロンドン大学
アジア・アフリカ学院 SOAS

オーストラリア

- ◆マッコリー大学英語センター

タイ

- ◆チェンマイ大学
語学研修センター

オーストリア

- ◆ウィーン大学語学センター

フランス

- ◆リヨン・カトリック大学
付属語学学校

アメリカ

- ◆カリフォルニア大学
サンディエゴ校エクステンション

カナダ

- ◆ヨーク大学付属英語学校

マレーシア

- ◆マラヤ大学生涯教育センター

台湾

- ◆国立台湾師範大学
国語教学センター

1 インタロダクション

2 ワークシート

3 留学制度

4 留学の流れ

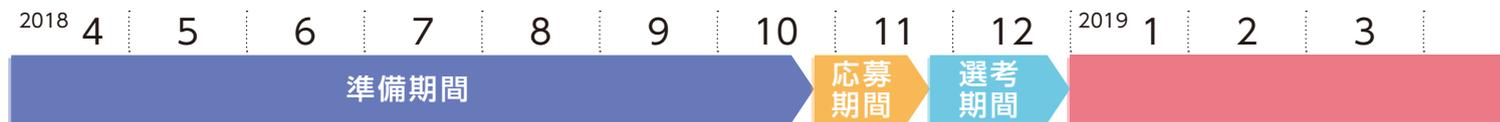
5 参考情報・資料

海外留学ロードマップ

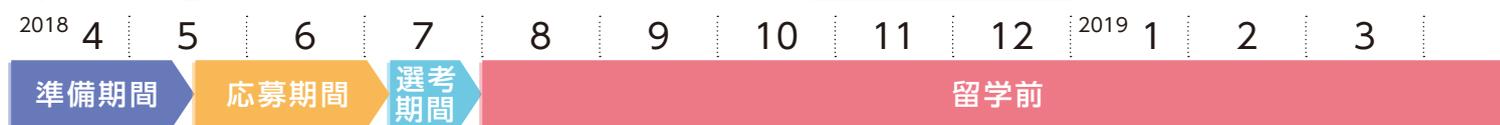
交換留学 (春募集) 詳しくは P.8 に



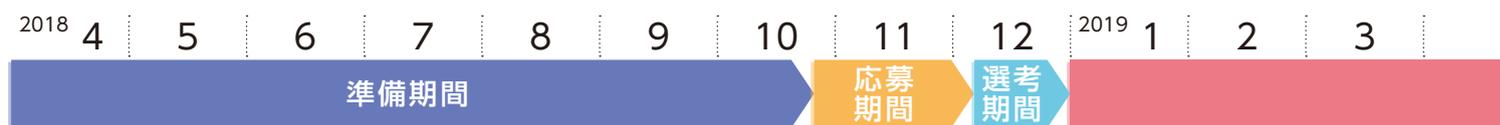
交換留学 (秋募集) 詳しくは P.8 に



派遣留学 (春募集: 語学研修+正規科目履修のケース) 詳しくは P.26 に



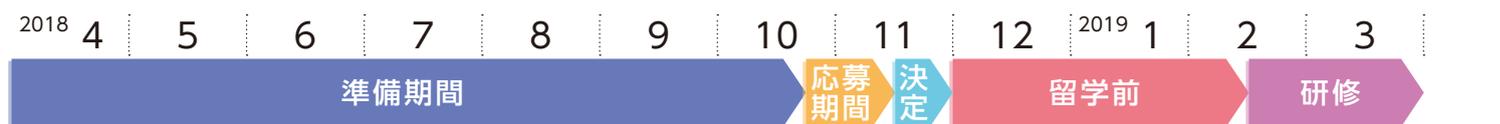
派遣留学 (秋募集: 正規科目履修のみのケース) 詳しくは P.26 に



海外短期研修 (夏期) 詳しくは P.30 に



海外短期研修 (春期) 詳しくは P.30 に



準備

どんなスタイルの留学が自分に最適なのか、どんな留学の選択肢があるのか、まず調べてみましょう。もちろん、語学力向上も大切です！

海外留学情報の収集 (P.8)

- ・留学フェアに参加 (春 4月・秋 10月)
- ・教員と相談 (履修計画)
- ・保護者と相談 (資金計画)
- ・海外留学相談室の利用

語学力向上 (P.37)

- ・IELTS 対策講座
- ・IELTS 試験学内受験
- ・留学英語講座
- ・学内外での国際交流活動への参加

応募要件・選考

応募に必要な書類を整えるには時間がかかります。語学能力試験の証明書など、応募に間に合うように準備しましょう。

応募要件 (交換・派遣) (P.8, 27)

- ・GPA、語学要件、小論文
- ・GPA と語学要件は留学先大学により異なる

選考 (交換・派遣) (P.9, 27)

- ・一次 (書類)・二次 (口頭試問)
- ・派遣者内定
- ・国際課へ留学申請、経済支援申請

海外短期研修 (P.30)

- ・選考なし
- ・GPA に関する要件は原則なし
- ・語学力に関する要件は一部研修のみあり

留学

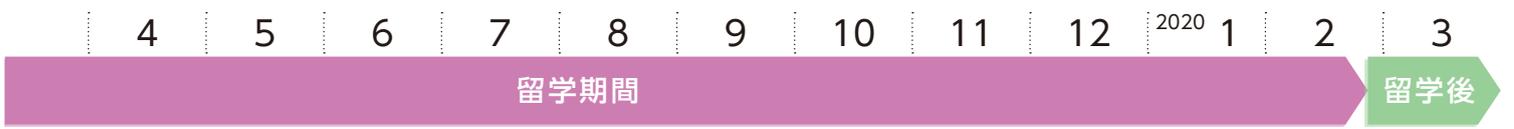
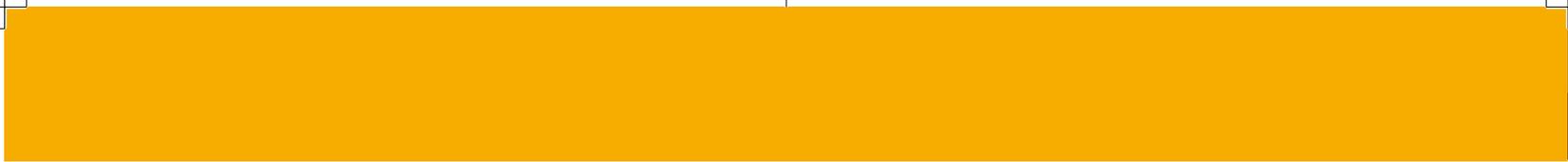
合格してから出発します。すべきこと英語や現地語は少ししましょう。留学準備ンテーションには必

留学手続

- ・留学先大学へ入
- ・滞在先手続き
- ・渡航手続き (券手配、留学保

留学準備講

- ・異文化理解・コミュ
- ・危機管理講座
- ・海外留学と就職
- ・留学英語講座



1
イントロダクション

2
ワークシート

3
留学制度

4
留学の流れ

5
参考情報・資料

前

で、渡航の準備を
はたくさんあります。
ずつでも毎日学習し
講座や出発前オリエ
ズ参加してください。

き (P.38)
学申請

VISA 申請、航空
険加入など)

座 (P.38)
ニケーション講座

留学期間 P.39

交換・派遣留学生は、毎月、在籍確認書・月次報告書の提出が義務づけられています。

交換留学

- ・ 正規科目 (専門・教養) 履修
- ・ 英語研修 + 正規科目 (専門・教養) 履修

派遣留学

- ・ 正規科目 (専門・教養) 履修
- ・ 英語研修 + 正規科目 (専門・教養) 履修

海外短期研修

- ・ 語学研修

留学後 P.40

留学後は速やかに帰国し、報告書の提出や必要な手続きを行いましょ。また留学をただの体験に終わらせず、事後研修などを通して振り返りましょ。

交換留学、派遣留学

- ・ 報告書の提出
- ・ 語学能力試験の受験 (効果測定)
- ・ 事後研修・帰国報告会への参加
- ・ 単位認定申請

海外短期研修

- ・ 報告書等の提出
- ・ 語学能力試験の受験
- ・ フィードバックミーティングへの参加

留学ワークシート

ワークシート1 希望を明確にしましょう！

以下のワークシートに、留学についての希望を記入し、自分に合った留学の種類や留学先を考えてみましょう。
希望の留学が具体的に見えてきた場合、また逆に不明な点が生じたり希望が定まらない場合は、このワークシートを
海外留学相談の先生等に見せ、留学に向けたアドバイスをもらいましょう。

1 氏名	
2 所属学部・系・研究科・コース	3 学年
4 Eメールアドレス	5 携帯電話
6 どこに留学したいですか？ <input type="checkbox"/> 英語圏 <input type="checkbox"/> 非英語圏(現地語で学ぶ) <input type="checkbox"/> 非英語圏(英語で学ぶ) <input type="checkbox"/> オセアニア <input type="checkbox"/> 北米 <input type="checkbox"/> ヨーロッパ <input type="checkbox"/> アジア <input type="checkbox"/> アフリカ <input type="checkbox"/> 中東 <input type="checkbox"/> 中南米 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 具体的な国名・大学名()	
7 どのような環境を希望しますか？ <input type="checkbox"/> 主要都市 <input type="checkbox"/> 地方都市 <input type="checkbox"/> 田舎 <input type="checkbox"/> 現地人との交流が多い <input type="checkbox"/> 留学生が多い <input type="checkbox"/> 日本人がある程度いる(日本語サポート有) <input type="checkbox"/> 学生寮に滞在 <input type="checkbox"/> ホームステイ <input type="checkbox"/> 民間アパート等に滞在	
8 なぜ留学したいですか？	
9 いつ頃、どのくらいの期間留学したいですか？	
10 留学に関して、1番重視することは何ですか？	
11 留学を考える上での懸念事項は何ですか？	
12 現在の語学力はどのくらいですか？ 語学試験スコア、合格している試験・級等を記入してください。	
13 質問事項があれば記入してください。	

ワークシート2 具体的に考え、準備しましょう！

(1) 留学の種類・留学先候補の絞込み

具体的な留学の方法、留学先候補がみえてきたら、それぞれを比較し、プラスポイント（メリット、魅力など）とマイナスポイント（懸念事項、ハードルなど）を挙げてみましょう。

留学方法・留学先	+ポイント	-ポイント

(2) 留学を実現するために

目指す留学が見えてきたら、後は実現に向けての準備、課題への取り組みが欠かせません。現状の課題と目標、達成に向けた手段を考えてみましょう。

1	課題
	目標
	達成時期
	手段
2	課題
	目標
	達成時期
	手段
3	課題
	目標
	達成時期
	手段

留学の種類 ～首都大学東京の留学・私費留学について～

首都大学東京では、海外留学を考えている学生の皆さんのために、学生交換協定に基づく交換留学をはじめ、派遣留学、海外短期研修、各学部・系・研究科からの留学など様々な留学プログラムを用意しています。

1 中長期留学

(1) 協定校への留学（交換留学・派遣留学）

⇒詳しくは P.8・P.26 に

協定校への留学とは、本学と協定を結んでいる海外の大学に1年以内留学できる制度です。協定校への留学は、「交換留学」と「派遣留学」の2種類があります。どちらも、留学先大学では、皆さんの専門分野や関心に応じ、正規授業を受講することになります。留学先の言語による理解力とコミュニケーション力、専門的知識やスキルを高め、またその国の文化や社会を体験することを通して多様な文化・価値観に対する意識を高めることを目的としています。また、本学の協定校（P.10、P.28を参照）の多くは非英語圏ですが、現地語での授業履修以外に、英語による授業を開講している大学が大半です。また、現地語の言語研修を提供している大学も多くありますので、生活に必要な言語を習得する機会も用意されています。

(2) その他本学が認める留学

交換留学・派遣留学協定校以外の高等教育機関であっても、所属学部・系・研究科の教授会等の審議を経て、本学を休学することなく留学することができます。

いずれの場合においても、海外の大学に留学する際には先方からの受入れ許可を受ける必要があります。指導教員に相談したり、自身で調べたりして、情報を収集しましょう。

なお、各学部・系・研究科で支援学生として推薦された場合には、経済支援を受けられる場合がありますが、募集・選考方法、要件等は所属学部等により異なるため、各教務係に確認してください。

2 海外短期研修

⇒詳しくは P.30 に

本学では、長期休暇期間等を利用した数週間の海外短期研修を実施しています。語学力、コミュニケーション能力の向上、国際交流を目的とした研修です。全学部・系・研究科学生対象の語学研修は、2017年度は、オーストリア、アメリカ、カナダ、マレーシア、オーストラリア、台湾、タイ、フランスで実施し、多くの学生が海外で有意義な研修を経験しました。中長期留学を目指す学生の準備にもなります。

3 私費留学・休学留学

本学の留学制度とは別に、個人的に海外の大学や語学研修機関に私費で留学するケースもあります。この場合は、留学先の国・学校選び、留学に関する手続き等すべて自分で情報を収集し、判断しながら行わなければなりません。自身の目的、将来を見据え、じっくりと計画を立ててください。また、本学の留学制度を利用した留学とは異なり、事前・留学中のサポート、大学による奨学金支給等の対象外となりますので、注意してください。なお、休学留学を考えている方は、早めに、学部1、2年生は教務課に、3年生以上（健康福祉学部2年生を含む）は所属の教務係に手続き方法や復学後の履修等について相談してください。

【中長期留学の比較】

	交換留学	派遣留学	その他本学が認める留学	休学留学
留学先	本学協定校	本学協定校	各学部・系・研究科によって留学を許可された高等教育機関（教員からの紹介を受ける場合、自身で探す場合等、ケースはさまざま）	各自が希望するところ
学籍上の扱い	留 学			休 学
授業料	本学に納入する 留学先には納入しない	本学に納入する 留学先にも納入する	本学に納入する 留学先によって異なる	本学に納入しない 留学先に納入する
経済支援	本学が実施する支援制度を利用することができる。		本学が実施する支援制度を利用できる場合があるが、各学部・系・研究科によって募集方法・選考方針等は異なる。	利用できない。個別に学外制度等に申請。
応募要件・ 学内選考	語学、成績要件等は留学先によって異なる。言語能力・小論文及び面接等によって学内選考が行われる。		—	留学先が求める要件に沿う。本学での選考はない。
本学での 単位認定・ 互換	留学前に留学計画を立て、申請。取得した単位は留学後、所定の手続きを経て認定されることもある。			単位認定は行われない。
留学中の 宿舎	学生寮を確保、又は学生寮や学外宿舎を斡旋してもらえる。		各自で手配が必要。	
留学に関する サポート	留学前・中・後に、本学国際センター・国際課のアドバイスやサポートを受けることができる。危機管理サービスへの加入が義務付けられる。		経済支援を受ける場合には、危機管理サービスへの加入が義務付けられる。	各自で調査、手続き等が必要。

本学の留学制度を利用するメリット

1 在学期間への算入

留学期間が在学期間に算入されるため、事前に十分な履修計画を立て準備をすれば、標準修業年限内で卒業できます。ただし、履修上の問題や留学先大学と本学の学年暦が異なること、また、自分の留学する年次あるいは学部等によっては、留年が必要な場合がありますので、事前に学部1、2年生は教務課、3年生以上（健康福祉学部2年生を含む）は所属の教務係によく相談してください。

2 単位認定

帰国後に、本学の単位としての認定を申請することができます（学則第43条）。ただし、申請したすべての単位が認定されるとは限りません。申請書の様式は国際センター・国際課ホームページから入手してください。

*大学院生の場合には、大学院学則第28条において上述の規定を準用しているので、学部と同様の取扱いが可能です。ただし、10単位が限度となります。なお、大学院生の場合、授業を履修せず単に研究指導を受ける場合も留学として認められます。

3 継続履修

留学のため、授業科目を引き続き履修することができなくなった場合、事前に授業担当者の承認があれば、届け出により留学期間終了後にその授業科目を引き続き履修することができる制度です（学則第36条第4項）。

例えば、10月から1年間留学する人が、本学での通年の授業の前期分を留学前に履修した場合、帰国後に後期分を履修することにより、併せて通年の授業を1年間履修したものとして取り扱うものです。

交換留学

1 交換留学とは

交換留学協定に基づき、本学の学生が留学期間中も休学することなく本学に在籍したまま、本学協定校で、半年もしくは1年間、留学できる制度です。原則として、正規授業を受講することになりますが、授業の使用言語もさまざまで、非英語圏でも英語による授業を受講できる大学も多数あります。詳しくは海外留学相談（P.36）または国際課（国際交流会館内）にお問い合わせください。

派遣学生の募集は、毎年春と秋の2回（4月および10月頃を予定）、国際課を通じて行われますので、学内の掲示や国際センター・国際課ホームページなどで確認のうえ、出願してください。選考は、言語能力・小論文及び面接等によって行われ、留学先大学からの入学許可をもって正式決定となります。なお、英語圏へ留学及び非英語圏での英語による授業を受講するためには、出願時に TOEFL または IELTS の一定のスコアが必要になりますので、交換留学希望者は早くから計画的な準備を心がけましょう。

2 交換留学の特徴

(1) 授業料

交換留学は、協定校と学生を交換するため、留学先大学への授業料は免除されます。ただし、本学に在籍中であるため、本学への授業料は納入します。

(2) 多様な留学先

首都大学東京の交換留学制度の特徴は、多様な留学先大学を確保している点です。本学は多くのアジア、ヨーロッパ、オセアニア、そして北米の大学と交換留学協定を締結しています。各協定校については、10 ページからの「協定校情報」をご覧ください。

(3) 留学サポート

本学の留学サポートを受けることができます。留学準備講座や事後研修はもちろん、留学中にもサポートを受けることができます。

3 応募に必要な書類

本留学制度への応募にあたって提出が必要な書類については、例年、下記の通りとなります。応募を予定している学生の方は、募集年度の募集要項を必ず確認のうえ、書類提出の準備をしてください。直近の募集要項・様式は、国際センター・国際課のホームページより閲覧が可能です。応募準備の参考にしてください。応募書類の問い合わせ・提出先は国際課となります。

- ① 交換留学申込書
- ② 成績証明書（原本）、成績通知書（写し）、学業成績調査票
- ③ 健康診断書
- ④ 小論文（志望動機、抱負、留学先大学における研究計画等について）
- ⑤ 言語能力を証明する書類（IELTS または TOEFL のスコア等）写し
- ⑥ その他募集要項に記載されている必要な書類

ポイント！ 言語能力を証明する書類及び成績要件について

- ◎ IELTS、TOEFL 等のスコアは受験してからスコア受取まで1ヶ月はかかるので、留学を考えている人は早めに受験することをお勧めします。⇒詳しくは P.37 へ
- ◎ 交換留学・派遣留学において本学では最低限の語学要件及び成績要件を設けています。
英語の場合、IELTS：5.0（各セクション4.5以上） TOEFL iBT：60以上（各セクション14以上）
GPA：全員に共通2.0以上（ただし計算方法は本学のやり方）
但し、各派遣先の大学には独自の基準が存在するため、本学基準よりも高いスコアが求められることもしばしばあります。必ず応募前に必要なスコアを満たしているか確認をしましょう。

4 募集・選考スケジュール

交換留学の募集、派遣選考は年2回（春募集、秋募集）行っています。募集・選考スケジュールは以下のとおりです。本ブックレットの海外留学ロードマップ（P.2～3）も併せて参考にしてください。

応募説明会（4月／10月）

応募説明会に参加し、募集要項を入手。応募する学生は、応募説明会の参加を推奨します。協定校の応募要件、応募書類、選考日程等を確認し、応募の準備をする。



募集期間（5月～6月／10月～11月）

募集要項に記載された応募に必要な書類を国際課へ提出する。



一次選考（6月中旬～7月上旬／12月上旬）

英語圏の大学又は受講言語が英語の大学：語学能力、小論文により選考を実施する。
受講言語が英語以外の大学：語学能力、小論文により選考を実施する。



二次選考（7月上旬／12月上旬～中旬）

英語圏、非英語圏共通：一次選考合格者のみ、面接を実施。



派遣候補者発表（7月中旬～7月下旬／12月下旬）

※その年の募集要項を確認してください。

ポイント！ 小論文について

小論文は本学の交換留学・派遣留学への応募の際に必須です。小論文では①志望理由：なぜ留学を志望するのかと留学を通じてやり遂げたいこと、②留学計画：派遣先の大学で何を学びたいかとその計画、の2つの項目について書きましょう。募集要項の「首都大学東京学生交換協定および学生派遣協定による派遣学生候補者の選考方針」をよく読み、志望する協定校や授業、派遣先の地域的特色や文化についてよく調べた上で出来る限り明確に書くことが大切です。

kibacoで海外留学情報を 収集しましょう!

国際センターでは2018年度より本学eラーニングシステムkibacoを利用したスピーディーな海外留学協定校情報を開始します。各協定校別の語学・学力要件等の詳細情報に加え、帰国生の報告書等もアップロードされます。科目名は「海外留学 協定校情報」です。交換留学を考えている学生は必ずkibacoから授業自己登録を行うようにしてください。

自己登録手順 (PCの場合)

- ① eラーニングシステムkibacoにログイン
- ② マイページタブをクリック
- ③ 「授業一覧」をクリック
- ④ 授業自己登録をクリック
- ⑤ 授業名から「海外留学 協定校情報」(ID: ahpartner)を検索
- ⑥ 「海外留学 協定校情報」のチェックボックスにチェックを入れ登録ボタンをクリック
- ⑦ 登録完了!

自己登録に方法の詳細については以下を参照してください。

<https://kibaco.tmu.ac.jp/access/content/group/admin/public/>

【受講生用】自己登録の方法 QuickGuide.pdf

登録が完了したら「海外留学 協定校情報」ページの資料のところから入ってください。

* 応募要件については必ず最新の募集要項を確認するようにしてください。

語学要件、学力要件は各協定校ごとに異なります。

* 応募要件については必ず最新の募集要項を確認するようにしてください。

インドネシア・ジャカルタ	
  	
ビナス大学 http://binus.ac.id/	
運営形態・創立年・学期制 私立大学・1974年・二学期制 学生数 約23,000名 学年歴 (一学期) 9月中旬～2月上旬 (二学期) 2月中旬～7月上旬 受講言語 英語	特徴 ビナス大学は首都ジャカルタに位置する総合大学である。1974年にコンピュータトレーニングの機関として母体となる組織が設立され、1996年に総合大学として正式に開学した。国内外でも特にIT系の強い大学として知名度が高く、2012年にはインドネシア教育文化省のランキングで私立大学部門第1位に選ばれている。Faculty of Humanitiesには日本語専攻もある。Kemanggisian、Alam Sutera、Senayanの3つのキャンパスで交換留学生向けの授業が提供されている。
韓国・ソウル特別市	
  	
ソウル市立大学校 http://global.uos.ac.kr/iice/main.do	
運営形態・創立年・学期制 公立大学・1918年・二学期制 学生数 約10,000名 学年歴 (一学期) 3月上旬～6月中旬 (二学期) 9月上旬～12月中旬 受講言語 英語	特徴 東京都の姉妹都市でもあるソウル特別市のシンクタンクとしての役割を期待され、本学同様、都市研究分野を有するのは大きな特徴。韓国人学生との交流の機会や制度が充実しており、現地生活にも馴染みやすい。ソウル市内の中心部から離れているため、自然豊かで広大なキャンパスを持ち落ち着いた雰囲気、学業に集中するにはとてもよい環境。繁華街に行くにも地下鉄やバスの路線が多く走っているため便利。
韓国・ソウル特別市	
  	
漢陽大学校 http://www.hanyangexchange.com	
運営形態・創立年・学期制 私立大学・1939年・二学期制 学生数 約40,000名 学年歴 (一学期) 3月上旬～6月中旬 (二学期) 9月上旬～12月中旬 受講言語 英語	特徴 1939年に韓国初の私立工科大学として設立後、1959年に総合大学に昇格。教育理念には勤勉さ、誠実さ、謙虚さ、学生への奉仕を掲げ、「Love in Deed and Truth」精神を重んじている。政財界・法曹界等韓国の社会全般に多くの人材を輩出し、産業化・近代化にも貢献しており、2017年には韓国で最も多くベンチャー企業の社長を輩出した大学となった。ソウルキャンパス(ソウル特別市)とERICAキャンパス(京畿道安山市)では23の学部で授業が展開されている。
韓国・慶尚北道	
  	
金烏工科大学 http://eng.kumoh.ac.kr/e_new/	
運営形態・創立年・学期制 国立大学・1979年・二学期制 学生数 (学部) 約7,700名 (大学院) 約3,400名 学年歴 (一学期) 3月初旬～6月下旬 (二学期) 9月初旬～12月下旬 受講言語 英語	特徴 金烏工科大学は1979年に設立された国立大学である。学部は工学に特化しており、卒業生の高い就職率、潜在的な能力、地域の産業との実践的かつ密接なつながりを持ち、政府及び一般企業の両方から高い評価を受けている。韓国国内においてフルタイムの就職率としては最高の就職率を持つ大学のうちのひとつとされ、就職支援に力を入れている。

1 インTRODクッション

2 ワークシート

3 留学制度

4 留学の流れ

5 参考情報・資料

韓国・仁川広域市

Inchon National University



仁川大学校

<http://www.inu.ac.kr/mbs/home/mbs/inujpn/index.do>
運営形態・創立年・学期制 国立大学・1979年（旧：仁川工科大学）、二学期制

学生数 約13,800名

学年歴 (一学期) 3月上旬～6月中旬
(二学期) 9月上旬～12月中旬

受講言語 英語
特徴

1979年に仁川工科大学の名称で私立大学として設立され、1994年に市立大学として改組された。さらに2013年1月からは、国立大学法人仁川大学校に転換した。幅広い学部構成の中でも1997年に開設した東北亜経済通商学部では、東北アジアにおける国際専門人材の育成に注力している。

韓国・光州市

Chonnam National University



全南大学校

http://global.jnu.ac.kr/jnumain_en.aspx
運営形態・創立年・学期制 国立大学・1952年・二学期制

学生数 約35,000名

学年歴 (一学期) 3月上旬～6月中旬
(二学期) 9月上旬～12月下旬

受講言語 英語
特徴

全南大学校は1952年に韓国南西部の光州市に設立された。「学術に関する奥深い理念と応用を研究すると同時に人格を陶冶し、人類と国家社会に貢献できる有能な指導的な人材の養成」を理念として掲げている。75か国から留学生を受け入れ、国際的なカリキュラムを提供している。

韓国・ソウル特別市／京畿道安城市

Chung-Ang University



中央大学校

<http://neweng.cau.ac.kr/index.php>
運営形態・創立年・学期制 私立大学・1918年・二学期制

学生数 約30,000名

学年歴 (一学期) 3月上旬～6月中旬
(二学期) 9月上旬～12月下旬

受講言語 英語
特徴

歴史と伝統を持つ国内トップクラスの名門私立大学。国際化に力を入れており、日本の大学30校近くと協定を締結している。学部を中心に英語で開講される科目が約600科目と充実しているのも特徴。ソウル市と京畿道安城市の二つのキャンパスを持つ。大学周辺には学生向けの食堂やカフェが多く、学内図書館が24時間開館、また学生寮も新しい建物が多く、学生向けサービスが充実している。

タイ・バンコク

Thammasat University



タマサート大学

<http://tueng.tu.ac.th>
<http://inter.tu.ac.th>
運営形態・創立年・学期制 国立大学・1934年・二学期制

学生数 約36,000名（80%学部生）

学年歴 (一学期) 8月中旬～12月下旬
(二学期) 1月中旬～5月下旬

受講言語 英語
特徴

タマサート大学は、1934年に設立されたタイで2番目に古く、常にタイの中でトップ3に位置付けられる大学である。法学系に強く、法学部門ではタイ国内の権威とされているが、政治系、人文系、理系のコース等も充実している。タープラチャン、ランシット、ラムパーン、パッタヤーにキャンパスが所在。大学周辺は、国立博物館、国立美術館、国立劇場など、一日で廻りきれないほどの施設群が集積する。周辺は終日学生たちで賑わう地域でもある。

タイ・バンコク

Chulalongkorn University

チュラロンコン大学

<http://www.chula.ac.th/en/>

運営形態・創立年・学期制 国立大学・1917年・二学期制

学生数 約38,000名

学年歴 (一学期) 8月上旬～12月下旬
(二学期) 1月中旬～5月下旬

受講言語 英語

特徴

タイで最も古い歴史を持つ高等教育機関。設立以来国内ナンバーワンとしての地位を誇り、王族が在学していたこともある。その卒業生はタイの政財官界で広く活躍している。1917年に設立されたタイ最古にして最高の名門校。王宮やタマサート大学にも近く、仏教寺院の壮大な建築物の数々が建ち並び、古くからの問屋街など懐かしい街並みも残る。もともと海外貿易の拠点として栄えたシーロム通り周辺は、ポルトガルやフランスなど西欧諸国の大使館、商人らの邸宅、輸入品販売店などが集中していた。

タイ・バンコク市

Mahidol University

マヒドン大学

<http://www.mahidol.ac.th/en/>

運営形態・創立年・学期制 公立大学・1889年・三学期制

学生数 (学部) 約18,700名 (大学院) 約8,900名

学年歴 (一学期) 9月中旬～12月中旬 (二学期) 1月上旬～4月上旬 (三学期) 学部により異なる

受講言語 英語

特徴

1888年チュラロンコン大王によって Siriraj Medical School として創立された、タイで最も古い大学のひとつであり、チュラロンコン大学、モンクット王トンプリー工科大学等とともに、トップレベルの総合大学として広く知られている。特に薬学やバイオテクノロジー等の分野では様々な新技術を創出によりタイの産業界に大きな影響を与えているとされる。「己の欲する所を人に施せ」がモットーとして掲げられている。

台湾・新竹市

National Tsing Hua University

国立清華大学

<http://nthu-en.web.nthu.edu.tw/bin/home.php>

運営形態・創立年・学期制 国立大学・1956年・二学期制

学生数 約16,500名

学年歴 (一学期) 2月下旬～6月下旬
(二学期) 9月上旬～1月下旬

受講言語 中国語・英語

特徴

1911年に中国で創立された清華学堂を前身とし、1956年に台湾新竹市に設置された国立総合大学である。設立当初より理工学系を中心に発展し、現在は台湾を代表する名門総合大学の地位を確立している。台北市から約70キロほど南に位置し、近隣には新竹工業団地があり産学連携活動が活発に進められている。3名のノーベル賞受賞者を輩出するなど、理工学系の研究力は世界でも高く評価されている。

台湾・台北市

National Taiwan Normal University

国立台湾師範大学

<http://ap.itc.ntnu.edu.tw/istudent/oia/index.jsp>

運営形態・創立年・学期制 国立大学・1946年・二学期制

学生数 約16,000名

学年歴 (一学期) 9月中旬～1月中旬
(二学期) 2月中旬～6月中旬

受講言語 中国語・英語

特徴

台湾師範大学は1946年に成立し、台湾中等教育に携わる優秀な教師陣の育成機関として知られている。中等教育教師の育成以外では、特に人文、芸術および体育学部が有名。また、台湾で最も早く留学生の受け入れを始めた大学としても知られ、留学生数は4000人を超える。最近では多様性と国際化推進にも力を入れている。本部、公館、林口の3つのキャンパスがあり、どのキャンパスも駅に近く利便性が高いと同時に自然豊かで景観が良い。学内施設も充実しており、学業に励みやすい環境が整っている。

台湾・花蓮県

National Dong Hwa University



国立東華大学

<http://www.oia.ndhu.edu.tw/bin/home.php>

運営形態・創立年・学期制 国立大学・1994年・二学期制

学生数 約10,000名

学年歴 (一学期) 2月中旬～6月中旬
(二学期) 9月中旬～1月中旬

受講言語 中国語・英語

特徴

自由、民主主義、創造性、優秀さを理念とし、1994年に設立され、台湾東部では最大規模の国立大学である。人文社会、理工、管理、教育、芸術、原住民族、環境、海洋の八つの学部で構成されている。

台湾、台北市

Chinese Culture University



中国文化大学

<http://www.pccu.edu.tw/intl/page/english/index.html>

運営形態・創立年・学期制 私立大学・1962年・二学期制

学生数 約25,000名

学年歴 (一学期) 9月上旬～1月上旬
(二学期) 2月上旬～6月中旬

受講言語 中国語・英語

特徴

学科数は国内一を誇り、医学部以外のほぼ全ての学問を学ぶことができる。国際交流にも力を入れており、海外協定校は200校を超える。授業言語は主に中国語だが、一部英語開講科目も存在する。政治、マスコミ、芸能、スポーツ分野で数多くの著名人を輩出していることでも有名。

台北市の陽名山に位置しており、天空の城ともよばれる大学からは絶景が楽しめる。キャンパス内設備が非常に充実しており、私立大学ならではの環境の良さがある。

台湾・新北市

Fen Jen Catholic University



天主教輔仁大学

<http://www.fju.edu.tw/>

運営形態・創立年・学期制 私立大学・1925年・二学期制

学生数 約26,000名

学年歴 (一学期) 9月中旬～1月下旬
(二学期) 2月上旬～5月下旬

受講言語 中国語・英語

特徴

バチカン教育省直轄のカトリック系私立大学。1925年に北京に創立されたのち、1961年に台北に再建された。キャンパスまでは、台北から車で40分程度。世界に321の姉妹校があり、国際的な大学として有名である。日本の複数の大学と学生交換を行っており、日本人学生の受入れ実績も十分にあり、安心できる。地下鉄の輔大駅から新北市内の仏閣や博物館等の文化施設へのアクセスも良い。

中国・広東省

South China University of Technology



華南理工大学

<http://en.scut.edu.cn/>

運営形態・創立年・学期制 国立大学・1952年・二学期制

学生数 (学部) 約24,700名 (大学院) 約9,100名
(専門職大学院) 約8,900名学年歴 (一学期) 9月～1月
(二学期) 2月下旬～7月

受講言語 中国語 英語

特徴

工学系の大学として設立されたが、学部増設により総合大学となった。中国政府より重点大学として指定され、財政支援を受けている。国際交流も活発で、留学生に受入れに積極的である。華南理工大学は広東省広州市に位置する。広州は華南の主要都市であり、キャンパスは伝統的な中国建築と現代的な研究施設棟、図書館、体育館等が立ち並んでいる。

中国・吉林省

Jilin University

吉林大学

<http://global.jlu.edu.cn/User/Index/index>**運営形態・創立年・学期制** 国立大学・1946年・二学期制**学生数** (学部) 約45,000名 (大学院) 約24,000名**学年歴** (一学期) 8月下旬～12月下旬
(二学期) 2月下旬～7月上旬**受講言語** 中国語 英語**特徴**

中国における最大規模の大学として研究・教育における評価の高い総合大学である。日本と歴史的な関係が深い地域である中国東北部に位置し、日本語を学ぶ学生も多い。キャンパスは中国東北部の吉林省の中心都市である長春市にあり、学内及び周辺には歴史的建造物も多く立ち並び、歴史博物館、公園等もある。

中国・北京

Capital Normal University

首都師範大学

<http://eng.cnu.edu.cn/>**運営形態・創立年・学期制** 公立大学・1954年・二学期制**学生数** (学部) 約10,700名 (大学院) 約5,800名**学年歴** (一学期) 9月～1月
(二学期) 3月～7月**受講言語** 中国語**特徴**

北京市が運営する総合大学であり、17専攻、47学科を有する。中国政府の全国重点大学の1つであるとともに中国語教育機関としても有名である。中国の政治・文化等の中心である北京市の中心部に位置し、市内に7キャンパスがある。派遣留学生は国際文化学院に在籍することになる。中国語学習の授業(初級～上級)または授業言語を中国語とする正規授業を履修することができる。

中国・上海

East China University of Political Science and Law

華東政法大學

<http://www.ecupl.edu.cn/english/main.psp>**運営形態・創立年・学期制** 公立大学・1952年・二学期制**学生数** 約21,000名**学年歴** (一学期) 9月中旬～1月中旬
(二学期) 2月下旬～6月下旬**受講言語** 中国語 英語**特徴**

1952年、中国建国初期に華東地区の9つの大学の法学系、政治学、社会学が合併され、政治・法律に特化した高等教育機関として設立された。現在は法学を中心に、19の学系及び160ヶ所研究機関を持つ総合大学と発展している。法律史と経済法学は中国国内でも評価の高い分野である。法学総合模擬教学センターは国家模擬教学センター師範大学であり、国際法律人材育成の基地としても期待されている。長寧(ChangningCampus)と松江(SongjiangCampus)の二つのキャンパスを持つ。最寄り駅は地下鉄やバスを利用できる。

中国・香港特別行政区

The College of Liberal Arts and Social Sciences at City University of Hong Kong

香港城市大学人文社会科学院

<http://www.cityu.edu.hk/class/>**運営形態・創立年・学期制** 公立大学・1984年・二学期制**学生数** 約17,300名**学年歴** (一学期) 9月上旬～12月下旬
(二学期) 1月中旬～5月中旬**受講言語** 英語**特徴**

1984年にCity Polytechnic of Hong Kongとして設立され、1994年に総合大学に昇格。派遣対象学部であるCollege of Liberal Arts and Social Sciencesは以下の7専攻を擁する。① Applied Social Studies; ② Asian and International Studies; ③ Chinese and history; ④ Translation and Linguistics; ⑤ English; ⑥ Media and Communication; ⑦ Public Policy; 2017年のQS World University Rankingで世界49位にランクされている。

マレーシア・クアラルンプール

University of Malaya



マラヤ大学

<http://www.um.edu.my/>

運営形態・創立年・学期制 国立大学・1905年・二学期制

学生数 約20,000名

学年歴 (一学期) 9月上旬～1月中旬
(二学期) 2月中旬～7月上旬

受講言語 英語

特徴

1905年設立の医科大学を前身とし、未来を担う学生に教育の場を提供することにより新しい国の基盤を築くことを目的として1949年に設立された総合大学。“知識は成功への鍵”を大学の理念とし、全ての分野で優秀な人材を輩出し続けるマレーシアの最高学府として知られている。近年では、大学の国際化に注力し、海外からの教員及び学生の受け入れを積極的に行っている。

マレーシア・セランゴール州

The National University of Malaysia



マレーシア国民大学

<http://www.ukm.my/v6/>

運営形態・創立年・学期制 国立大学・1970年・二学期制

学生数 約23,800名

学年歴 (一学期) 3月上旬～6月下旬
(二学期) 9月上旬～1月中旬

受講言語 英語

特徴

1970年にセランゴール州バンギに設立された国立総合大学である。2006年にはマレーシア政府により、Malaysian Research Universityに選定されるなど高い研究力が評価されている。メインキャンパスはクアラルンプールから30キロほどの距離に位置する。大学周辺は無料のシャトルバスで移動が可能。

イギリス・アバディーン

The University of Aberdeen



アバディーン大学

<http://www.abdn.ac.uk/>

運営形態・創立年 公立大学・1495年・二学期制

学生数 約14,500名

留学期間 (一学期) 9月上旬～12月中旬
(二学期) 1月上旬～5月下旬

受講言語 英語

特徴歴史等

英国の伝統ある大学として知られており、研究・教育面の評価も高い。国際化に向けて積極的な取組みを行い、学生の学生生活満足度においても高い評価を得ている。大学の位置するアバディーンは、スコットランドの北東部にあり、港湾都市として発展し、1970年代の北海油田発見以降は石油関連産業で栄えた。キャンパスは、オールド・アバディーン(人文・社会科学、自然科学)とフォレスト・ヒル(生命科学、薬学)の2カ所にある。

Newcastle-under-Lyme, UK ニューカッスル・アンダー・ライム

Keele University



キール大学

<https://www.keele.ac.uk/>

運営形態・創立年 公立大学・1962年・二学期制

学生数 約10,100名

留学期間 (一学期) 9月中旬～1月中旬
(二学期) 1月中旬～6月上旬

受講言語 英語

特徴歴史等

2018年大学満足度調査で英国内総合1位を獲得し、教育の質で高い評価を得ている。研究面の強化も進んでおり、2014年の国内評価では研究の97%が世界トップレベルもしくは国際水準を満たすレベルとみなされた。イングランドのウェストミッドランド地方に立地する大学で、広大なキャンパスには農場や森林、湖もあり、一つの村のような温かい雰囲気を持つ。キャンパス内に住む学生やスタッフも多く、治安も良く、生活環境は抜群。

Newcastle upon Tyne, UK ニューカッスル・アポン・タイン

Northumbria University



ノーサンブリア大学

<https://www.northumbria.ac.uk/>

運営形態・創立年 公立大学・1992年・二学期制

学生数 約27,200名(留学生:約3,300)

留学期間 (一学期) 9月下旬~1月下旬
(二学期) 1月下旬~5月下旬

受講言語 英語

特徴歴史等

イングランド北東部で最大規模を誇る総合大学で、特にスポーツやデザイン、ビジネススクール、また建築や工学分野の評価が高い。全学的な国際化推進と学生満足度の高さでも定評がある。メインキャンパスは、学生が暮らしやすい街英国第一位にも輝いたことのあるニューカッスルのダウンタウンに立地する。その名の通り、タイン川の河口に開けた工業都市で、近年、外国企業誘致や観光振興が成功し街の再開発が進んでおり、北部の商工業の中心地として非常に活気がある。

イギリス・バンガー

Bangor University



バンガー大学

<https://www.bangor.ac.uk/>

運営形態・創立年 公立大学・1884年・二学期制

学生数 約11,000名

留学期間 (一学期) 9月中旬~12月中旬
(二学期) 1月中旬~6月上旬

受講言語 英語

特徴歴史等

北ウェールズの海岸沿いに立地する大学。Times Higher Education 2017-18では、350位以内にランクインしている。また、英国政府が2017年に初めて行った大学教育の質評価(Teaching Excellence Framework)では、金賞(全5大学)を獲得し、ウェールズで最上位の教育を提供している。学生の街ともいえるバンガーは、大聖堂を中心とした自然豊かな閑静な町であり、学習環境に恵まれている。

イギリス・レスター

University of Leicester



レスター大学

<https://le.ac.uk/>

運営形態・創立年 公立大学・1921年・二学期制

学生数 約28,300名

留学期間 (一学期) 9月下旬~1月中旬
(二学期) 1月中旬~6月上旬

受講言語 英語

特徴歴史等

イングランド中部のレスター市に位置し、英国で最も古い伝統を誇る総合大学のひとつである。現在は世界的に教育・研究の質の高さが評価されている。Times Higher Education 2016-2017では、世界ランク172位で世界のトップ1%にランクインしている。レスター市はロンドンから北に電車で70分ほどの距離で、市の人口は約30万人と小規模であり、治安もよい。市内中心部はヴィクトリア建築の美しい町並みが保存されており、運河や大聖堂、古代ローマ時代の遺跡などがある。

イタリア・ローマ

University of Rome "Tor Vergata"



ローマ大学・トルヴェルガータ校

http://web.uniroma2.it/module/name/Content/newlang/italiano/navpath/ARI/section_parent/5293

運営形態・創立年・学期制 公立大学・1982年・二学期制

学生数 約32,000名

留学期間 (一学期) 9月中旬~2月中旬
(二学期) 2月中旬~7月上旬

受講言語 英語

特徴

ローマ大学トルヴェルガータ校は、1982年に設立され、ローマに立地する公立大学3校のうちの一つである。6学部からなっている: 経済・経営学部、法学部、工学部、人文・社会学部、医学部、数・理・自然環境学部。ローマ郊外にある600haの広いキャンパスに植物園、博物館、大学附属病院などの様々な設備がそろっている。近年では、国際化が進み、留学生が約6%を占める。

オーストリア・ウィーン

University of Vienna



ウィーン大学

<https://www.univie.ac.at/en/><http://international.univie.ac.at>

運営形態・創立年・学期制 国立大学・1365年・二学期制

学生数 約93,000名

留学期間 通年のみ：3月上旬～1月下旬

受講言語 ドイツ語

特徴

歴史的な文化都市であるウィーン市内にキャンパスを持つ総合大学で、創立650年とドイツ語圏最古の大学である。教育・研究の質も非常に優れており、欧州内外から多くの学生や研究者が集まる。

メインキャンパスは市内中心部に立地し、利便性も高く、音楽や芸術に身近に触れることができる抜群の環境。本学の学生交換協定校の中で最も歴史が長く、日本語学科を持つ東アジア研究所のサポートも手厚い。

オランダ・ロッテルダム

Rotterdam University of Applied Sciences



ロッテルダム専門大学

<http://www.rotterdamuas.com/>

運営形態・創立年・学期制 私立大学・1988年・二学期制

学生数 約30,000名

留学期間 (一学期) 9月上旬～1月下旬
(二学期) 1月下旬～7月上旬

受講言語 英語

特徴

第二次世界大戦後の復興期および経済成長期に高度な専門能力を備えた人材養成機関として他分野において設立された上級専門学校が国の教育政策によって合併し、ロッテルダム専門学校が設立された。ロッテルダムの中心部に複数のモダンなキャンパスを持つ。私立大学ではあるが、国からの財政支援は国立大学と同等であり、質の高い教育を提供している。

ロッテルダムは人口60万人を超えるオランダの第二の都市であり、港湾都市としては世界でも有数の規模。人口の60%が移民ということもあり、多文化社会である。

スウェーデン・ウメオ

Umea University



ウメオ大学

www.umu.se/english/<https://www.umu.se/en/education/exchange-students><https://www.umu.se/en/education/exchange-students/search-courses/>

運営形態・創立年・学期制 国立大学・1965年・二学期制

学生数 約31,000名

留学期間 (一学期) 8月下旬～1月中旬
(二学期) 1月中旬～6月上旬

受講言語 英語

特徴

ウメオ大学は研究・教育の評価が非常に高い。研究分野では特に生命科学、北極研究(環境・エネルギー資源研究含む)、工業デザインで評価が高い。留学生、現地学生の満足度調査においても毎年スウェーデン国内1位になっている。ウメオは首都ストックホルムから北600キロに位置するスウェーデン北部最大の都市で、教育・文化活動の盛んな街としても知られている。2014年には欧州文化都市にも選ばれた。キャンパスは緑に囲まれ、冬にはオーロラが見られる可能性有。

スペイン・ガリシア

University of A Coruna



ア・コルーニャ大学

<http://international.udc.es>

運営形態・創立年・学期制 公立大学・1989年・二学期制

学生数 約20,000名

留学期間 (一学期) 9月上旬～12月下旬
(二学期) 1月中旬～5月下旬

受講言語 英語・スペイン語

特徴

大西洋に面するスペイン北西部のガリシア州に立地し、二か所にキャンパスを持つ。1989年に設立された公立大学として、社会、科学、技術面での発達を通じて、高度な社会福祉を地域に提供することのできる人材の育成を目指している。現在、学内の多様性を高めるため、留学生を増やしつつある。ア・コルーニャ市は大西洋に面して、古代ローマ時代から知られる湾港町。人口は約25万人と小規模の町であるが、歴史的な建物の多い中世の街並みが残っている。キャンパスは便利な位置にあり、モダンな設備がそろっている。

スペイン・アルカラ・デ・エナレス

University of Alcalá

アルカラ大学

https://portal.uah.es/portal/page/portal/portal_internacional/**運営形態・創立年・学期制** 公立・1499年（起源は13世紀）・二学期制**学生数** 約18,000名**留学期間** (一学期) 9月中旬～1月中旬
(二学期) 1月中旬～5月下旬**受講言語** 英語・スペイン語**特徴**

アルカラ大学は、ヨーロッパ最古大学の一つとして知られ、文学・科学の分野に長い伝統を持っている公立大学である。3つのキャンパスには先端的な研究・教育施設がそろっている。近年、国際化が進み、スペインでもっとも高い留学生率（21%）を占めている。特に、海外でも評価が高いのはスペイン言語学、バイオ医学、バイオ科学研究。アルカラ・デ・エナレスの歴史地区（アルカラ大学を含む）はユネスコの文化世界遺産に登録されており、世界最初の計画的な大学都市としても知られている。

ドイツ・ラインランド・パラティナト

Hochschule Kaiserslautern
University of Applied Sciences

カイザースラウテルン専門大学

<https://www.hs-kl.de/international/international-office/international-office-english/>**運営形態・創立年・学期制** 公立大学・1971年・二学期制**学生数** 約5,700名**留学期間** (一学期) 9月上旬～2月下旬
(二学期) 3月上旬～8月下旬**受講言語** 英語 ドイツ語**特徴**

理工系分野を中心に発展し、研究・教育において高い評価を得ている大学。理工系の中でも履修可能分野が限られているため出願前に確認が必要。条件を満たす学生は大学院の英語開講科目の受講も可能。カイザースラウテルンはドイツ南西部に位置し、機械産業が盛んな町である。またプロサッカーチームの本拠地であるためサッカーの熱狂的なファンが多いことでも有名。

ドイツ・コブレンツ

Hochschule Koblenz University of Applied Sciences

コブレンツ専門大学・ビジネス経営学部

<http://www.hs-koblenz.de/en/> <http://www.hs-koblenz.de/rac-english>**運営形態・創立年・学期制** 公立大学・1949年・二学期制**学生数** 約8,000名**留学期間** (一学期) 9月中旬～2月下旬
(二学期) 3月中旬～7月上旬**受講言語** 英語**特徴**

複数の専門大学が合併して設立された大学。ビジネス経営学部との協定であるため、特にドイツのビジネスの現状把握及び英語コミュニケーション力の向上、異文化間コミュニケーションの経験に適した大学。コブレンツは、フランクフルトから電車で約2時間の町で、古城とワイン畑が広がるライン川沿いの世界遺産地区が特に有名。

ドイツ・バイエルン州

University of Bayreuth

バイロイト大学

<http://www.international-office.uni-bayreuth.de/en/>**運営形態・創立年・学期制** 公立大学・1975年・二学期制**学生数** 約13,300名**留学期間** (一学期) 10月上旬～3月下旬
(二学期) 4月上旬～9月下旬**受講言語** 英語・ドイツ語**特徴**

ドイツ南部、バイエルン州に位置する総合大学で、先進的かつ学際的な研究を推進することを目的として設立された。新興大学でありながら国際的な評価も高く、世界大学ランキングでは301～350位以内、設立50年以内の大学としては世界で40位、ドイツ国内で2位という評価を受けている。バイロイト市は、作曲家ワーグナーが移り住み、ワーグナー歌劇祭（バイロイト音楽祭）を始めたことから、音楽・文化の街として世界的に有名である。小規模都市で、治安も非常に良く、生活費が比較的安価。

ノルウェー・コングスベルグ 他

University College of Southeast Norway

サウスイースト・ノルウェー大学

<http://www.usn.no>

運営形態・創立年・学期制 公立大学・2016年・二学期制

学生数 約20,000名

留学期間 (一学期) 8月中旬～12月中旬
(二学期) 1月上旬～6月中旬

受講言語 英語

特徴

2016年1月に3つの公立大学が合併し、University College of Southeast Norwayが設置された。合併により、12学部、学生数17,500を有するノルウェーで2番目の規模のユニバーシティカレッジとなった。大学の8つのキャンパスはノルウェーの南部に位置し、小さな街にあるが、オスロからは車や列車で30分～1時間半と近く、空港からのアクセスも良い。冬は長く11月頃～4月頃は寒く雪も多いが室内は快適。夏は日照時間が長く、夜中の1、2時まで日が落ちない。現地学生及び国際オフィスによる留学生のサポートも充実している。

ハンガリー・ブダペスト

Óbuda University

オーブダ大学

<https://www.uni-obuda.hu/en>

運営形態・創立年・学期制 公立大学・2010年・二学期制

学生数 約13,000名

留学期間 (一学期) 9月上旬～翌年1月下旬
(二学期) 2月上旬～6月下旬

受講言語 英語

特徴

2010年にブダペスト工科大学と複数の専門大学が合併して創設された新しい大学であり、知識の伝達と革新により、経済を支えることをミッションに、ハンガリーの工科大学として、国内有数の規模を誇る。世界で最も美しい街の一つとしても知られるブダペストは、ユネスコの世界遺産にも登録されており、ドナウ川が流れる街にはいたるところに歴史的建造物が残されている。オーブダ大学の3つあるキャンパスは地下鉄の駅から近く、ダウンタウンへのアクセスも便利。

フィンランド・ユバスキュラ

University of Jyväskylä

ユバスキュラ大学

<https://www.jyu.fi/en>
<https://opiskelu.jyu.fi/en>

運営形態・創立年・学期制 私立大学・1863年・二学期制

学生数 約15,000名

留学期間 (一学期) 9月上旬～12月中旬
(二学期) 1月上旬～5月中旬

受講言語 英語

特徴

フィンランド国内で4位にランクインする総合大学。留学生のための語学支援、チューター制度などを始め、学生サポートが非常に充実している。ユバスキュラは首都ヘルシンキより北270キロ、フィンランド中部に位置し、教育・文化の街として知られる。ユバスキュラ・アートフェスティバルは、今なお続く北欧最古のサマーフェスティバルである。

フランス・リール

University of Lille

リール大学

<https://www.univ-lille.fr/en/home/>

運営形態・創立年・学期制 公立大学・1854年(2018年再編)・二学期制

学生数 約67,000名

留学期間 (一学期) 9月上旬～1月中旬
(二学期) 1月中旬～5月中旬

受講言語 英語・フランス語

特徴

総合大学で、3つのキャンパスからなっている。フランスで理工分野で最も著名な大学であり、留学生率が15%近いことも特徴の一つ。自然科学、理工系以外にも経済・経営、社会学などの科目も受講ができる。大学からダウンタウンまでは公共交通機関でのアクセスが非常によい。リール市は、高速列車でパリから約1時間のベルギー国境に位置する街であり、週末や休暇中には、気軽に隣国や周辺大都市に旅行ができるのも魅力。

フランス・レンヌ

Rennes 2 University



レンヌ第二大学

<https://www.univ-rennes2.fr/en>

運営形態・創立年・学期制 国立・1969年(旧レンヌ大学: 1810年)・二学期制

学生数 約20,000名

留学期間 (通年のみ) 9月上旬～6月上旬

受講言語 フランス語

特徴

芸術、文学、言語、社会学を中心に、フランス西部では人文科学における最大の研究機関・高等教育機関である。

レンヌ市はブルターニュ地方の中心都市で、人口40万人でありながら、地下鉄が一本だけ通るのんびりとした雰囲気を持つ街。現地学生がチューターとなり、出発前、到着後のサポートを行ってくれ、安心して現地の生活に溶け込むことができる。

ポーランド・ヴロツワフ

University of Wrocław



ヴロツワフ大学

<https://international.uni.wroc.pl/en>

運営形態・創立年・学期制 国立大学・1945年(起源は16世紀)・二学期制

学生数 約27,800名

留学期間 (一学期) 10月上旬～2月中旬
(二学期) 2月下旬～6月下旬

受講言語 英語

特徴

国内の総合大学ランキングで第4位の評価を受けており、研究、教育、国際化に現在最も力を入れている。3つのキャンパスを持ち、10の学部にて多数のプログラムでは英語のみで学位取得可能なほか、広い分野で英語による科目が開講されている。また、19世紀以降9名のノーベル賞受賞者を輩出している。ヴロツワフ市はポーランド第4の都市で、ポーランド南西部に位置し、産業、商業、文化、経済、そして学問の中心として栄えている。また、多様な文化的、歴史的側面を持つ魅力的な都市である。

リトアニア・シャウレイ

Šiauliai University



シャウレイ大学

<http://su.lt/index.php?lang=en>http://www.su.lt/index.php?option=com_content&view=article&id=4155&Itemid=17452&lang=lt

運営形態・創立年・学期制 国立大学・1997年・二学期制

学生数 約4,500名

留学期間 (一学期) 9月上旬～12月中旬
(二学期) 2月中旬～6月中旬

受講言語 英語

特徴

リトアニア北部で最大の国立大学で、1997年に設立された。世界41カ国124大学以上と協定をもち、インターナショナルスタディープログラムが開講されており、国内外から学生を集めている。学生の多くは英語をはじめとする外国語を話し、国際的な環境である。大学の近くに列車の駅やバスターミナルがあり、国内外への移動も便利。「命のビザ」で有名な杉原千畝氏の功績により日本とリトアニアの友好関係も長く築かれている。

ロシア・トムスク

Tomsk Polytechnic University



トムスク工科大学

<http://tpu.ru/en/>

運営形態・創立年・学期制 公立・1896年・二学期制

学生数 約22,000名

留学期間 (一学期) 8月下旬～1月下旬
(二学期) 2月上旬～6月下旬

受講言語 英語

特徴

トムスク市内の州立大学の一つで、研究・教育面において高い評価を得ている大学である。総合大学ではあるが、科学技術分野の研究機関が集中し、工学分野ではロシア国内2位となっている。国際化を推進し、留学生は約20%を占めている。キャンパスはトムスク市内に立地し、図書館、PCラボ、スポーツ施設などがある。トムスクは経済特区として国内外から企業が多数進出し、市内には博物館、劇場などの文化施設もある。

ロシア・トムスク

Tomsk State University



トムスク国立大学

<http://en.tsu.ru/><http://en.cjiap.tsu.ru/><http://en.cjiap.tsu.ru/node/6>

運営形態・創立年・学期制 国立・1878年・二学期制

学生数 約12,000名

留学期間 (一学期) 9月上旬～1月下旬
(二学期) 2月上旬～6月下旬

受講言語 英語

特徴

ロシア国内の主要な教育・研究拠点であるトムスクにおけるトップクラスの大学として評価されている。総合大学だが、政府の財政支援、産業界との連携を通じて科学技術分野の研究も活発である。近年、キャンパスの多様性を目指して、留学生、外国人研究スタッフが増加。キャンパスには、図書館、植物園、博物館、鉱物資源館、標本館等があり、学術研究が活発な雰囲気を感じられる。

市内は歴史的建造物が見られ、公共交通機関も発達している。

オーストラリア・パース

Edith Cowan University



エディス・コーワン大学

<http://www.ecu.edu.au/>

運営形態・創立年 公立大学・1991年・二学期制

学生数 約27,000名

留学期間 (一学期) 2月中旬～6月下旬
(二学期) 7月中旬～11月下旬

受講言語 英語

特徴歴史等

公立教育機関の発達に大きく貢献した、オーストラリア初の女性議会議員エディス・コーワン氏にちなんで名づけられた総合大学。特に、看護学、観光学、教育学、経済学などは国内外で高い評価を得ている。また、2017年の政府調査では、オーストラリア公立大学の学生満足度において1位に輝いた。世界一住みやすいと称される西オーストラリアのパース近郊に3キャンパスを有する。パースでは、年中穏やかな天候と美しいビーチに恵まれており、多国籍料理や文化を味わうことができる。

ノルウェー・コングスベルグ 他

The University of Newcastle



ニューカッスル大学

<http://www.newcastle.edu.au/>

運営形態・創立年・学期制 公立大学・1965年・二学期制

学生数 約40,200名

留学期間 (一学期) 2月下旬～6月下旬
(二学期) 7月下旬～11月下旬

受講言語 英語

特徴歴史等

研究・教育面においてオーストラリア国内でも評価の高い総合大学。2017年のQS World University Rankingsでは世界の大学のトップ1%に入っている。多様性に配慮し、教育・研究を通じてマイノリティの機会均等を実践している。

メインキャンパスは、南東部沿岸の港湾都市ニューカッスルの郊外に位置する。低草原地帯の自然豊かな環境に恵まれているほか、図書館、スポーツ施設なども充実している。

オーストラリア・シドニー

Macquarie University



マッコリー大学

<https://www.mq.edu.au/>

運営形態・創立年 公立大学・1964年・二学期制

学生数 約39,000名

留学期間 (一学期) 2月中旬～7月上旬
(二学期) 7月中旬～12月上旬

受講言語 英語

特徴歴史等

国内トップレベルの総合大学。世界大学ランキングでは教育・研究全体に加え、国際化に対する評価も非常に高い。オーストラリアのシリコンバレーともよばれる地域に隣接し、産業との結びつきも強い。

キャンパスは、シドニー中心部から電車で30分ほどの距離にあるノース・ライドに位置する。126ヘクタールの自然溢れる広大な土地にモダンな校舎や施設が立ち並び、公共交通機関が発達しており、駅が隣接しているため非常に便利で安全。

トルコ・イスタンブール

Sabancı University



サバンチ大学

<https://www.sabanciuniv.edu/en>

運営形態・創立年・学期制 私立大学・1996年・二学期制

学生数 約4,600名

留学期間 (一学期) 9月中旬～12月下旬
(二学期) 2月上旬～5月下旬

受講言語 英語

特徴

アジアとヨーロッパの文化が交流する都市イスタンブールに立地する新興大学。評価が年々高まっており、Times Higher Education 設立50年以内の大学ランキング2015では世界13位。

学際的な研究・教育環境の確保、グローバル人材の育成を目指し設立されており、学部・大学院の授業は全て英語で開講される。キャンパス内に博物館や芸術文化センターも併設するなど学内施設も充実している。

トルコ・イズミール

Yaşar University



ヤシャル大学

<http://www.yasar.edu.tr/en/>

運営形態・創立年・学期制 私立大学・2001年・二学期制

学生数 約7,100名

留学期間 (一学期) 9月下旬～1月下旬
(二学期) 2月中旬～6月中旬

受講言語 英語

特徴

トルコのグループ企業の出資により設立された新興大学。ほぼ全ての学部・研究科の授業が英語で開講されており、国内外から留学生が多く集まる。産業界との結びつきが強くまた地域貢献にも力を入れている。

イズミール市はエーゲ海に面するトルコ第三の都市。ヨーロッパの街のようで、気候も年中通して過ごしやすい。市内中心部から大学隣接の駅までは電車で10分。学内は開放的でフレンドリーな雰囲気。

アメリカ・ワシントン州

Eastern Washington University



イースタン・ワシントン大学

<http://www.ewu.edu/>

運営形態・創立年 公立大学・1882年・四学期制

学生数 約13,000名

留学期間 9月下旬～12月上旬、1月上旬～3月下旬
4月上旬～6月中旬、6月下旬～8月中旬

受講言語 英語

特徴歴史等

教員養成を目的として設立され、西海岸では最も古い大学の一つである。ワシントン州立の総合大学として135分野に及ぶ研究・教育が発展している。

シアトルから飛行機で1時間程のチーニーにメインキャンパスがある。広大なキャンパスには歴史ある建物が立ち並び、四季折々の風景が楽しめる。アメリカの典型的な大学生活を満喫できる環境となる。

アメリカ・ウィスコンシン州

University of Wisconsin -Green bay



ウィスコンシン大学グリーンベイ校

<http://www.uwgb.edu/>

運営形態・創立年 公立大学・1965年・二学期制

学生数 約7,000名

留学期間 (一学期) 8月下旬～12月下旬
(二学期) 1月上旬～5月中旬

受講言語 英語

特徴歴史等

ウィスコンシン大学群の一つ。小規模なので学部教育やサポートがしっかりとしている。クラブ活動も活発で、留学生比率や日本人比率が非常に低いため、現地の生活に浸るには最適な環境。希望する学生は、1学期間無料で英語コースを2科目履修できる。

キャンパスのあるグリーンベイはウィスコンシン州東部、ミシガン湖グリーン湾南端に位置する人口約10万人の小さな町で、治安の良さと緑の豊かさは全米トップレベル。冬の雪対策として学内には地下道が整備されている。

アメリカ・ニューヨーク州

The State University of
New York, Oneonta

ニューヨーク州立大学オニオンタ校

<http://suny.oneonta.edu/>

運営形態・創立年 公立大学・1889年・二学期制

学生数 約6,000名

留学期間 (一学期) 8月下旬～12月下旬
(二学期) 1月中旬～5月上旬

受講言語 英語

特徴歴史等

ニューヨーク州全域で64あるキャンパスの一つで、四年制のリベラル・アーツ・カレッジとして、幅広い分野での学位プログラムを提供している。また、少人数の教育体制をとり、教育の質、ダイバーシティ推進等に関して国内の公立大学の中でも高い評価を得ている。キャンパスのあるオニオンタはニューヨーク州の中央部に位置し、ニューヨーク市まで車で3時間ほど。学生の半数以上が学生寮に住み、150以上の学生サークル・組織があり、学内イベントも盛りだくさん。大学自体が小さな街のような雰囲気を持つ。

アメリカ・ケンタッキー州

Murray State University

マーレイ州立大学

<http://www.murraystate.edu>

運営形態・創立年 公立大学・1922年・二学期制

学生数 約10,000名

留学期間 (一学期) 8月中旬～12月中旬
(二学期) 1月中旬～5月上旬

受講言語 英語

特徴歴史等

米国南部の州立大学の内、質の高い大学として評価が高い。幅広い分野において245以上のプログラムを開講し、少人数制クラスで学生のサポートも充実している。課外活動も活発に行われており、社会で通用するコミュニケーションを培う場となっている。キャンパスは、テネシー州の州都ナッシュビルから約200km離れたのんびりとした田舎町にある。学内には池や博物館、スポーツ施設もあり、自然やスポーツも楽しみながら、学習に集中できる環境が提供されている。

カナダ・ノバスコシア州

Saint Mary's University

セント・メアリーズ大学

<http://www.smu.ca/>

運営形態・創立年 公立大学・1802年・二学期制

学生数 約7,100名

留学期間 (一学期) 9月上旬～12月中旬
(二学期) 1月上旬～4月下旬

受講言語 英語

特徴歴史等

カナダ東部の大西洋に面するノバスコシア州の州都ハリファックスに位置する総合大学。学部教育の評価が特に高く、Maclean's誌ランキングでは国内7位を誇る。留学生も多く受け入れており非常に国際的。特筆すべき分野に、国際開発学、天文学、環境科学がある。ハリファックスは人口約40万人のカナダ大西洋岸地方最大の文化・経済の中心都市である。大学は市内中心部にあり、市バスも通っていて便利。夏は最高気温が20度前半で涼しく、冬は氷点下まで下がる。

カナダ・ニューファンドランド・ラブラドル州

Memorial University of Newfoundland

ニューファンドランドメモリアル大学

<http://www.mun.ca/>

運営形態・創立年 公立大学・1925年・二学期制

学生数 約18,000名

留学期間 (一学期) 9月上旬～12月中旬
(二学期) 1月上旬～4月下旬

受講言語 英語

特徴歴史等

Maclean's誌による国内大学の総合ランキングでは常にTOP10内に入り、高い評価を得ている。特に海洋学や環境学、工学、コミュニケーション学、美術学が有名。分野・学科によってキャンパスが異なるため注意。主要キャンパスはニューファンドランド島に位置するが、本部のあるセント・ジョンズはブレフエンキャンパスから700km離れている。両キャンパスともに、雄大な自然に囲まれる中規模の美しい街に立地し、快適な生活環境。夏は20度前後と快適だが、冬は氷点下20度まで下がることもあるため防寒対策が必須。

派遣留学

1 派遣留学とは

派遣留学とは、本学と海外留学協定を結んでいる海外の大学に1年以内留学できる制度です。本学に授業料を納入し、留学期間中も休学することなく本学に在籍する点においては、交換留学と同様ですが、留学先大学の授業料を負担する点で異なります。留学先における学生寮の情報提供や留学中のサポートについては、交換留学と同様に受けることができます。

本学の正式な留学制度であるため、交換留学制度と同様に、所定の手続きを経て、留学期間の在学期間への算入、留学先大学において履修した授業科目の修得した単位の認定、継続履修も可能です。

2 派遣留学の特徴

(1) 柔軟な学修プログラム

派遣留学の協定校は、英語圏の大学であり、求められる語学基準は高い傾向にありますが、派遣留学では、出願時の英語力に応じ、①正規授業科目の履修、②英語研修受講後に正規授業科目履修のいずれかで学修することができます。ただし、留学先大学の一部については、研修終了後に英語試験の再受験を必須としており、所定の要件を満たすことができなかった場合には、その時点で留学期間の終了（語学研修の継続は不可）となります。各大学の定める基準を満たしていれば、各自の希望や関心に合わせ、学修プログラムを選択できます。

(2) 留学先

派遣留学の留学先となる協定校は、世界でも高水準の研究・教育環境を提供していることで定評がある大学が中心です。また、総合大学である協定校では、幅広い分野の科目を提供しており、皆さんの専門分野はもちろん、受講要件等を満たすことで、他の分野の授業を履修することもできます。

(3) 留学サポート

本学の留学サポートを受けることができます。留学準備講座や事後研修はもちろん、留学中にも本学の危機管理サービスを受けることができます。

ポイント！ 派遣留学の疑問

◎派遣留学にかかる費用はいくらくらいですか？

国や大学によって異なりますが、英語研修と正規授業科目履修で8～10か月滞在した場合、授業料は約110万～240万、生活費は約130万～160万円です。

例：ノッティンガム大学（イギリス）の場合：

【授業料】 4月～9月の20週間英語研修（約95万円）＋9月～12月のセメスター1（約108万円）

【生活費】 月額 約15万円 学生寮（一人部屋＋2食付） 約11万円を含む

※この金額は、2016年3月時点での為替レートを参考に算出しています。

◎派遣留学と休学留学との違いは？（P.6 参照）

派遣留学で留学する場合は、休学留学と異なり、留学前や留学中も大学からのサポートを受けたり、本学の経済支援制度を利用したりすることができます。また、留学先で取得した単位について、所定の手続きを経ることで認定されます。さらに、在学期間に算入されるため、標準修業年限内で卒業できる可能性があります。

3 応募に必要な書類

本留学制度への応募にあたって提出が必要な書類については、例年、下記の通りとなります。応募を予定している学生の方は、募集年度の募集要項を必ず確認のうえ、書類提出の準備をしてください。直近の募集要項・様式は、国際センター・国際課のホームページより閲覧が可能となっていますので、応募準備の参考にしてください。応募書類の問い合わせ・提出先は国際課となります。

- ① 派遣留学申込書
- ② 成績証明書（原本）、成績通知書（写し）、学業成績調査票
- ③ 健康診断書
- ④ 小論文（志望動機、抱負、留学先大学における研究計画等について）
- ⑤ 留学計画書（留学期間中の資金計画を記入）
- ⑥ 言語能力を証明する書類（IELTSまたはTOEFLのスコア）写し
- ⑦ その他募集要項に記載されている必要な書類

4 募集・選考スケジュール

派遣留学の募集、派遣選考は年2回（春募集、秋募集）行っています。募集・選考スケジュールは以下のとおりです。本ブックレットの海外留学ロードマップ（P.2～3）も併せて参考にしてください。

応募説明会（4月／10月）

応募説明会に参加し、募集要項を入手。応募する学生は、応募説明会の参加を推奨します。協定校の応募要件、応募書類、選考日程等を確認し、応募の準備をする。



募集期間（5月～6月下旬／10月～11月）

募集要項に記載された応募に必要な書類を国際課へ提出する。



一次選考（7月上旬／12月上旬）

書類選考のみで試験等は行わない。



二次選考（7月上旬／12月上旬～中旬）

一次選考合格者のみ、面接を実施。



派遣候補者発表（7月中旬～7月下旬／12月下旬）

※その年の募集要項を確認してください。

* 応募要件については必ず最新の募集要項を確認するようにしてください。

アメリカ・カリフォルニア州	
<h2>University of California, Riverside</h2>	
カリフォルニア大学リバーサイド校 http://www.extension.ucr.edu/	
運営形態・創立年 公立大学・1954年・三学期制 学生数 約23,300名 留学期間 9月下旬～12月中旬(秋)、1月上旬～3月下旬(冬)、3月下旬～6月中旬(春) 受講言語 英語	特徴歴史等 カリフォルニア大学リバーサイド校は、農業研究所を前身とし、教養学部を設置により総合大学となった。国際的にも研究・教育に対する評価は高い。バイオテクノロジー分野をはじめ生物学、経営学、心理学において高い評価を得ている。リバーサイドは、カリフォルニア州の南、ロサンゼルス近郊の小都市である。物価も比較的安く、治安も良いといわれている。キャンパス内の施設(図書館、体育施設)も充実している。本学の学生が留学した場合にはエクステンションに所属となる。

アメリカ・マサチューセッツ州	
<h2>Boston University, Metropolitan College</h2>	
ボストン大学 メトロポリタンカレッジ http://www.bu.edu/met/	
運営形態・創立年 私立大学・1839年・二学期制 学生数 約33,100名 留学期間 (一学期) 9月上旬～12月下旬 (二学期) 1月下旬～5月中旬 受講言語 英語	特徴歴史等 ボストン大学は世界的にも非常に高い評価のある総合大学である。全米においても最も規模の大きな大学の一つで、卒業生、教員には多数のノーベル賞受賞者、著名人がいる。開学当初より学生受入れにおいて多様性に配慮していたことでも知られる。ボストンは、米国における学術、文化の中心都市である。留学生に対する支援体制も充実しており、英語研修期間にはメトロポリタンカレッジにおける履修準備、学修のアドバイスを受けることができる。英会話のパートナー制度を利用することもできる。

カナダ・マニトバ州	
<h2>University of Manitoba</h2>	
マニトバ大学 (派遣先部局) Faculty of Extended Education https://umextended.ca/	
運営形態・創立年 公立大学・1877年・二学期制 学生数 約29,500名 留学期間 (一学期) 9月上旬～12月上旬 (二学期) 1月上旬～4月上旬 受講言語 英語	特徴歴史等 カナダ西部において一番歴史の古い伝統ある総合大学である。特に農学、建築、医学分野での評価が高い。文化的多様性に配慮し、留学生、マイノリティの学生の受入れに積極的である。キャンパスは二つあり、メインのフォートゲアリーキャンパスは(医学・薬学を除く全学部)州都ウィニペグ郊外のレッド川沿いに位置する。280ヘクタール(東京ドーム約60個分)という広大な敷地は、緑豊かで、19の図書館をはじめ体育施設なども充実している。夏冬極値の気温差は約85度に達するなど、季節の寒暖差が著しい。

イギリス・ロンドン	
<h2>University of London, School of Oriental and African Studies</h2>	
ロンドン大学アジア・アフリカ学院 http://www.soas.ac.uk/	
運営形態・創立年 公立大学・1916年・三学期制 学生数 約5,000名 留学期間 9月下旬～12月中旬(秋)、1月上旬～3月下旬(冬)、4月下旬～6月中旬(春) 受講言語 英語	特徴歴史等 アジア、アフリカ、中近東の地域研究に特化する大学として、上記地域の言語・文化・社会の理解を目的とする教育カリキュラムを提供するとともに地域研究の研究者の人材育成を目指す。人文科学分野における評価も高い。少人数教育のため学業・学修面においてきめ細やかなサポートが提供されている。図書館には地域研究の蔵書が多くあり、学術的に恵まれた環境にある。留学生の受入れ体制も十分に整っている。キャンパスはロンドン市内中心部に立地している。

イギリス・バーミンガム

The University of Birmingham



バーミンガム大学

<http://www.birmingham.ac.uk/>**運営形態・創立年** 公立大学・1900年・三学期制**学生数** 約33,400名**留学期間** 10月上旬～12月中旬(秋)、1月中旬～3月下旬(冬)、4月下旬～6月下旬(春)**受講言語** 英語**特徴歴史等**

研究・教育面で世界的にも評価が高い総合大学であり、多くのノーベル賞受賞者を輩出している。国際化推進にも積極的に取り組んでおり、留学生の受入れ規模が最も大きい英国大学の一つとなっている。メインキャンパスは、バーミンガム郊外のエッジバーストンに位置する。緑豊かな美しいキャンパスで、時計台を中心に円状に建物が配置され、図書館や学生会館、カフェなどもある。バーミンガムは英国第二の規模を誇る都市であり、主要都市へのアクセスも良い。

イギリス・ノッティンガム

The University of Nottingham



ノッティンガム大学

<http://www.nottingham.ac.uk/>**運営形態・創立年** 公立大学・1881年・二学期制**学生数** 約33,400名**留学期間** (一学期) 9月下旬～1月下旬
(二学期) 1月下旬～6月下旬**受講言語** 英語**特徴歴史等**

研究・教育面における高い評価を受けており、特に研究力においては、世界をリードする最高評価を誇っている。アジア地域にキャンパスを設置するなど国際化推進に意欲的である。ノッティンガムはイングランド中心部に位置する都市で、ロビン・フッドの伝説でも有名。二つの主要キャンパス (University Park, Jubilee) は、自然豊かな環境や現代的な建造物が並び、キャンパス間のバスも運行している。図書館、スポーツ施設も整備され、学修・生活面において魅力的な環境にある。

イギリス・ヨーク

The University of York



ヨーク大学

<http://www.york.ac.uk/>**運営形態・創立年** 公立大学・1963年・三学期制**学生数** 約17,400名**留学期間** 9月下旬～11月下旬(秋)、1月上旬～3月中旬(冬)、4月中旬～6月下旬(春)**受講言語** 英語**特徴歴史等**

戦後に設立した大学でありながら、世界の大学ランキングのトップ100に入るなど、教育、研究面において高い評価を得ている。世界有数の大学・研究機関との連携をはじめ、国際化や学生の学修環境の整備にも力を注いでいる。学生は、キャンパスのカレッジ(学寮)に所属し、イギリスの伝統的な大学生活を過ごす。ヨークは、大学生が多く、治安も比較的良く、ローマ時代の遺跡などが残る歴史名所としても有名な都市である。

1 イントロダクション

2 ワークシート

3 留学制度

4 留学の流れ

5 参考情報・資料

海外短期研修

首都大学東京では、大学主催の海外短期研修を実施しています。研修プログラムは多様で、それらは語学力、コミュニケーション・スキルの向上、グローバルな視野の獲得、中長期留学の準備、各学生の関心、語学力、予算等に応じて選択することができます。研修先は、本学が協定を締結している大学または提携する大学付属の語学研修機関です。研修派遣生は、オリエンテーションや危機管理の講習を受講したうえで研修に参加します。

1 海外短期研修内容及び実施の流れ

平成 30 年度 海外短期研修 (夏期)

4月～5月 説明会・応募期間 → 6月～8月 準備、オリエンテーション → 8～9月 研修参加 → 10月 報告書提出・効果測定

研修名、大学機関名 (研修国・都市)	実施時期 (期間)	研修言語 (レベル)	授業内容	滞在先	参加費用
イギリス夏期英語研修 ロンドン大学 SOAS IFCELS (イギリス・ロンドン)	8月下旬～9月上旬 (3週間)	Academic Subject courses 英語 (中上級)	英語による テーマ別の専門科目を受講	学生寮	約 60万円
		English Language skills 英語 (中級)	総合的な アカデミック英語学習		
【特色】 ・イギリスの名門ロンドン大学 SOAS (東洋アフリカ研究学院) の IFCELS における英語研修 ・Academic Subject courses と English Language skills の二つのコースから条件にあったコースを選択 ・Academic Subject courses では、メディア研究入門、国際関係、環境と開発、グローバル経営戦略より自身の専門や興味ある分野の一つ選択し、英語による専門科目の受講に必要なスキルを習得 【こんな人におすすめ】 ・イギリスの政治・経済・文化の中心であるロンドンで学び、グローバルな視野を養いたい ・語学要件の高い大学、または英語圏の大学への交換留学を考えている					
カナダ夏期英語研修 ヨーク大学 付属英語学校 (カナダ・トロント)	9月上旬～9月下旬 (4週間)	英語 (初中級)	総合的な英語学習 レベル別授業	学生寮	約 48万円
【特色】 ・カナダの州立大学であるヨーク大学 YUELI (York University English Language Institute) における英語研修 ・各自の英語力に応じて 9段階にレベル分けされた英語クラスを受講 【こんな人におすすめ】 ・自分の語学レベルに合った授業を通して、将来的に中・長期の留学に必要な英語運用能力を向上させたい ・課外活動や現地の学生との交流を通して、カナダの文化・社会・自然への理解を深めたい					
オーストラリア 夏期英語研修 マッコーリー大学 英語センター (オーストラリア・シドニー)	9月上旬～9月下旬 (4週間)	英語 (初中級)	総合的な英語学習 レベル別授業	ホームステイ	約 47万円
【特色】 ・本学の交換留学協定校でもあるマッコーリー大学の英語センターにおける英語研修 ・各自の英語力に応じて 5段階にレベル分けされた英語クラスを受講 【こんな人におすすめ】 ・「読む・書く・聞く・話す」の 4 技能を中心に総合的な英語運用能力を向上させたい ・現地の英語話者との日常的な交流から多文化社会への理解を深め、実践的なコミュニケーション力を高めたい					
タイ夏期英語研修 チェンマイ大学 語学研修センター (タイ・チェンマイ)	8月下旬～9月中旬 (4週間)	英語 (初中級)	スピーキング プレゼンテーションスキル	ホテル (週末ホームステイ体験)	約 21万円
【特色】 ・タイの国立大学、チェンマイ大学の語学研修センターにおける英語研修 ・初中級の英語力を持つ本学学生を対象に、特別に編成されたスピーキングを中心とした英語コースに参加 【こんな人におすすめ】 ・自分と同じように英語が母語ではない現地学生との交流を通して共に切磋琢磨し、実践的な会話を高めたい ・課外活動もしっかりと組まれたプログラムに参加し、タイへの理解を深めたい、または異文化体験をしてみたい					
夏期ドイツ語研修 ウィーン大学 語学センター (オーストリア・ウィーン)	9月上旬～9月下旬 (3週間)	ドイツ語 (初～上級)	総合的なドイツ語学習 レベル別授業	学生寮	約 34万円
【特色】 ・本学の交換留学協定校であり、ドイツ語圏最古の歴史あるウィーン大学の語学センターにおけるドイツ語研修 ・ヨーロッパ言語共通参照枠 (CEFR) に基づくクラス別のドイツ語クラスを受講 【こんな人におすすめ】 ・芸術的にも文化的にも名高いオーストリアの首都ウィーンで、現地の歴史・社会・文化への理解を深めたい ・実践的なドイツ語力をつけ、ドイツ語圏への交換留学に繋げたい					
夏期フランス語研修 リヨン・カトリック大学 付属語学学校 (フランス・リヨン)	9月上旬～9月下旬 (4週間)	フランス語 (初～上級)	総合的なフランス語学習 レベル別授業	学生寮	約 37万円
【特色】 ・歴史豊かな文化都市リヨンにあるリヨン・カトリック大学付属語学学校におけるフランス語研修 ・ヨーロッパ言語共通参照枠 (CEFR) に基づくクラス別のフランス語クラスを受講 【こんな人におすすめ】 ・課外活動などの文化体験を通して、フランス及びリヨン周辺地域の歴史・社会・文化について理解を深めたい ・実践的なフランス語力をつけ、フランス語圏への交換留学に繋げたい					

平成 30 年度 海外短期研修 (春期)

10月 説明会・応募期間	11月～2月 準備、オリエンテーション	2～3月 研修参加	4月 報告書提出・効果測定		
アメリカ春期英語研修 カリフォルニア大学 サンディエゴ校 エクステンション (アメリカ・サンディエゴ)	3月上旬～3月下旬 (4週間)	英語 (中上級)	アカデミック英語 スキルアップコース	滞在先 アパートメント	参加費用 約 60万円
【特色】 ・サンディエゴ郊外に位置する全米トップレベルの州立大学 UCSD のエクステンションにおける英語研修 ・英語レベル中上級を対象とした Academic English コースに加え、特定分野のスキルアップを目指すための6つのコースから2コースを選択 【こんな人におすすめ】 ・アメリカの多文化社会に身を置きグローバルな視野を広げるとともに、現地の文化と社会への理解を深めたい。 ・自身の英語の弱点を克服し、より高いレベルの英語運用能力を習得したい、または語学要件の高い大学への交換留学を考えている					
カナダ春期英語研修 ヨーク大学 付属英語学校 (カナダ・トロント)	3月上旬～3月下旬 (4週間)	英語 (初中級)	総合的な英語学習 レベル別授業	学生寮	約 48万円
【特色】 ・カナダの州立大学であるヨーク大学 YUELI (York University English Language Institute) における英語研修 ・各自の英語力に応じて9段階にレベル分けされた英語クラスを受講 【こんな人におすすめ】 ・自分の語学レベルに合った授業を通して、将来的に中・長期の留学に必要な英語運用能力を向上させたい ・課外活動や現地の学生との交流を通して、カナダの文化・社会・自然への理解を深めたい					
オーストラリア 春期英語研修 マッコリー大学 英語センター (オーストラリア・シドニー)	3月上旬～3月下旬 (4週間)	英語 (初中級)	総合的な英語学習 レベル別授業	ホームステイ	約 47万円
【特色】 ・本学の交換留学協定校でもあるマッコリー大学の英語センターにおける英語研修 ・各自の英語力に応じて5段階にレベル分けされた英語クラスを受講 【こんな人におすすめ】 ・「読む・書く・聞く・話す」の4技能を中心に総合的な英語運用能力を向上させたい ・現地の英語話者との日常的な交流から多文化社会への理解を深め、実践的なコミュニケーション力を高めたい					
マレーシア 春期英語研修 マラヤ大学 生涯教育センター (マレーシア・クアラルンプール)	2月下旬～3月下旬 (4週間)	英語 (初中級)	総合的な英語学習 レベル別授業	学生寮 (週末ホームステイ体験)	約 30万円
【特色】 ・本学交換留学協定校のマラヤ大学付属の生涯教育センターにおける英語研修 ・各自の英語力に応じて3段階にレベル分けされた英語クラスを受講 【こんな人におすすめ】 ・集中的な英語の授業を通して、総合的な英語力を高めたい ・課外活動や現地の人々との交流を通して多民族国家であるマレーシアの文化・社会への理解を深め、グローバルな視野を広げたい					
春期中国語研修 国立台湾師範大学 国語教学センター (台湾・台北)	2月下旬～3月中旬 (3週間)	中国語 (初～上級)	実践的な中国語学習 レベル別授業	学生寮	約 23万円
【特色】 ・本学交換留学協定校である国立台湾師範大学付属の国語教学センターにおける中国語研修 ・各自の語学力に応じてレベル分けされた中国語クラスを受講 【こんな人におすすめ】 ・中国語授業に加え、文化授業や課外授業にも参加することで、中華文化への知識を一層深めたい ・中国語における実践的なコミュニケーション能力を身に付け、中国語圏への交換留学に繋げたい					

※研修先・時期・内容、研修費用は変更する場合があります。各研修の詳細、最新情報については、募集要項を確認してください。

2 海外短期研修経済支援

海外短期研修に参加する学生には、全てのオリエンテーションへの出席、研修終了後の報告書やアンケートの提出、効果測定の語学試験受験等の全ての履行を条件に、経済支援金を支給します。支給額は研修によって異なります。

1 インTRODクシヨソ

2 ワークシト

3 留学制度

4 留学の流れ

5 参考情報・資料

海外インターンシップ

1 国際センター海外インターンシップ

(1) マレーシア EPSON

春期休暇期間に国際センターが実施する、日本企業の海外現地法人における体験型インターンシッププログラムです。現在、マレーシアのEPSON 現地法人へ派遣を行っています。英語による就労体験を通してコミュニケーション能力を磨くとともに、その国の文化・社会、経済に対する理解を深め、国際的視野を広めることを目指します。帰国後は多言語・多文化国家であるマレーシアにおける異文化下での就労経験を活かし、将来のグローバル社会での活躍が期待されます。なお、派遣先や業務内容は、国際センターにて調整の上、受入れ先の判断をもって決定します。

【対象学生】 全学部生・大学院生

【派遣人数】 6名程度

【派遣先】 マレーシア EPSON

【研修内容（応募時に希望を取ります）】

- ・理系学生：工場内の業務あるいは技術系、情報系の一部の業務
- ・文系学生：人事・総務部門での業務

【派遣期間】 2月中旬から3月中旬頃の3週間程度（予定）

詳細は毎年10月に掲示により発表される募集要項をご覧ください。国際センター・国際課のホームページからダウンロードもできます。

(2) INTEC Education College

2018年度より新たに国際センターが実施する、海外の教育現場におけるインターンシッププログラムです。高校を卒業し、マレーシアから日本の高等専門学校への編入を控え準備中のマレーシア人学生に対し、担当教員の指導の下、授業の見学、サポート、教案作成、及び日本語で授業実習を行います。科目は日本語、数学、物理、化学のいずれかです。異文化の状況において多様な文化的背景を持つ学生に対する教育活動を経験することを通じ、国際的視野を広めることを目指します。

【対象学生】 学部3年生以上・大学院生（より詳細な条件については募集要項をご覧ください）

【派遣人数】 6名程度

【派遣先】 INTEC Education College（マレーシア）

【派遣期間】 9月第1週より3週間程度（予定）

詳細は4月に発表される募集要項をご覧ください。国際センター・国際課のホームページからダウンロードもできます。

2 シンガポール科学技術研究庁 バイオ情報研究所派遣プログラム

シンガポール科学技術研究庁 バイオ情報研究所で行っている研究に、3か月から6か月間参加するプログラムです。海外の教育研究機関において研究活動等に参加し、実践的かつ専門的なスキルの向上を図るとともに、海外の研究者との活動を通じてより高いレベルのコミュニケーション能力の習得と視野の拡大を目指します。

シンガポール政府からの月額奨学金及び本学からの経済支援（渡航費実費・上限100,000円）を受けることができます。

【対象学部・研究科】 理工・都市環境・システムデザイン・健康福祉・人間健康

URL http://www.ic.tmu.ac.jp/study_overseas/internship.html

3 IAESTE 海外インターンシップ

理工農薬系学生のための海外インターンシップを推進している非営利団体 IAESTE が主催するプログラムです。IAESTE 加盟国内にある企業又は大学・研究所などの教育・研究機関でインターンシップを受けることができます。

【対象学生】 学部3年次以上または大学院に在籍している学生

【対象学部・研究科】 理工・都市環境・システムデザイン

URL <http://www.comp.tmu.ac.jp/kyoutsu/>

4 海外インターンシップ体験

理工学研究科・都市環境科学研究科・システムデザイン研究科が実施する「海外インターンシップ体験」のプログラムです。派遣先はアメリカの西海岸を予定しており、期間は1週間程度です。事前研修と体験報告会もあります。

【対象学生】 博士前期課程・博士後期課程の学生

【対象研究科】 理工・都市環境・システムデザイン

URL <http://www.comp.tmu.ac.jp/kyoutsu/>

1
イントロダクション2
ワークシート3
留学制度4
留学の流れ5
参考情報・資料

その他の海外派遣プログラム

1 グローバル・コミュニケーション・プログラム

首都大学東京・産業技術大学院大学・産業技術高等専門学校の連携プログラムです。

普段異なる環境で教育を受け、年齢も異なる大学院生・大学生・高専生がチームを編成して本プログラムを受講し、テーマを設定して課題に取り組みます。首都大の学生はチームリーダーとしての役割を担います。

国内プログラムと海外プログラム（シンガポールにて実施）があり、国内ではチームマネジメントを学ぶリーダー研修、語学研修（英会話教室への通学）、海外ではフィールドワーク、英語によるプレゼンテーションや現地学生との交流を行います。

詳細は、毎年12月上旬ごろに発表される募集要項を見てください。（国際センター・国際課のホームページにアップロードされます。）



2 保健医療領域における IPE（Interprofessional Education）短期研修

保健・医療・福祉領域において、複数の専門職域間を横断的かつ有機的に連結する専門職間連携教育（IPE）を推進する国々を取り入れている教育手法を体験するプログラムです。海外の保健医療福祉のシステムや異なる国における専門職の役割、「専門職間連携協働」の概念と意義を学び、将来国際的視点を有する医療人の育成を目指します。

【対象学部・学生】 健康福祉学部全学科・学部2年次～4年次の学生

【問い合わせ先】 荒川キャンパス学務課教務係

3 海外協定校主催のプログラム

長期休暇期間等を利用し、海外協定校が主催している短期プログラムに自身で申込み、参加することができます。文化体験、語学学習を行うものや、ビジネス、化学、機械工学など専門分野を学ぶものなど内容は様々です。協定大学からの学生は参加費のうち授業料免除、もしくは割引等の特典が受けられる場合があります。世界中の学生と交流できるチャンスです。（例：韓国仁川大学校主催 韓国文化体験プログラム）

本学の経済支援と外部団体の奨学金について

1
イントロダクション

2
ワークシート

3
留学制度

4
留学の流れ

5
参考情報・資料

1 本学の経済支援制度について

(1) 中長期派遣学生対象（「首都大学東京派遣留学生経済支援制度」）

本学では、協定又は協議に基づき留学する学生に対して、経済支援を行っています。

【経済支援の内容】 ・月額奨学金（派遣される国・地域により、6万円～10万円）
・渡航費実費（ただし上限あり。アジア地域：10万円、アジア以外：20万円）

① 交換留学生及び派遣留学生対象

留学決定者を対象に、募集・申請・選考を経て支給が決定されます。詳しい応募方法は、7月・12月実施の交換留学・派遣留学合格者オリエンテーションで案内します。

② 各学部・系・研究科からの派遣学生対象（部局中長期分）

所属する学部・系・研究科によって対象学生の募集・選考方法は異なるため、各教務係にお問い合わせください。

(2) 短期派遣学生対象

① 海外短期研修経済支援金

31ページで紹介している海外短期研修に参加する学生は、「海外短期研修経済支援金」を受給することができます。詳細については、毎年春と秋に発表される募集要項を参照してください。

② 各学部・系・研究科からの派遣学生対象（部局短期分）

学部・系・研究科で短期派遣する学生について、経済支援を受けられる場合があります。所属学部等によって対象学生の募集・選考方法は異なるため、各教務係にお問い合わせください。

(3) その他の海外渡航に関する支援

大学院生国際学術会議派遣支援事業

海外で開催される国際学術会議に参加する大学院の学生（原則として博士後期課程）に対し、支援金を支給しています。募集は年に2回行っており、とりまとめは各研究科の教務係が行っています。

【支援の内容】 往復航空賃相当額、国内交通費相当額、宿泊料相当額等

2 日本学生支援機構による奨学金制度について

日本学生支援機構（JASSO）が実施している以下の奨学金制度については、大学で取りまとめて応募を行っています。

(1) 官民協働海外留学支援制度～トビタテ！留学 JAPAN 日本代表プログラム～

企業からの支援による奨学金制度で、「産業界を中心に社会で求められる人材」「世界で、又は世界を視野に入れて活躍できる人材」の育成を目的としています。学生の専門分野や留学計画に応じた申請コース設定があります。

URL <http://tobitate.mext.go.jp/>

(2) 第二種奨学金（短期留学）

本学に在籍のまま海外の大学・大学院・短期大学に短期留学をする学生に対して奨学金の貸与（有利子）を行います。

URL http://www.jasso.go.jp/shogakukin/moshikomi/kaigai/2shu_short.html

(3) 海外留学支援制度（大学院学位取得型）

海外の大学に学位（修士または博士）を取得する目的で留学する学生に対し奨学金、授業料を支給します。

URL http://www.jasso.go.jp/ryugaku/tantoshastudy_a/long_term_h/

3 民間団体等による奨学金について

その他、地方公共団体、外国政府、民間団体等で、海外留学に関する奨学金の受給者を公募しています。最新情報については、以下のWebサイトを確認しましょう。

なお、応募は学生自身で行います。本学からの奨学金を受給する場合は、併給が可能かどうか、各自で奨学金支給団体に確認してください。

日本学生支援機構「海外留学支援サイト」

URL <http://ryugaku.jasso.go.jp/publication/pamphlet/>

留学前

留学を考え始めたら、まず、何のための留学なのか、どこで何をしたいのか、留学の目的をはっきりと決めることが大切です。語学研修か専門・研究のための留学か？ どの国・地域に留学したいか？ 何年生の時に留学したいか？ どのくらいの期間留学したいか？ どのくらいの費用を用意できるのか？ などを考え、目的を明確にしてください。

1 留学情報収集

留学に関する全般情報として、国際センター・国際課ホームページや留学パンフレット〈Go Global〉、〈海外留学ブックレット〉（本誌）がおすすめです。国際センター・国際課では海外留学を目指す学生のために様々な支援を行っています。以下で述べる留学関連説明会、海外留学相談、海外留学情報メーリングリストを是非利用してください。また、本学 e ラーニングシステム Kibaco の海外留学協定校ページも留学に興味がある方は必ず自己登録をしましょう。

(1) 留学関連説明会

国際センター・国際課では、海外留学に興味を持つ学生のために、4月と10月の「海外留学フェア」において「海外留学説明会」、「海外短期研修説明会」、「交換留学・派遣留学応募説明会」などを行います。

詳しくは、国際センター・国際課ホームページ及び掲示板、国際課で確認してください。

(2) 海外留学相談

国際センターでは海外留学に関する質問・相談に対応しています。交換留学から、海外短期研修、私費留学、学位取得を目的とした留学など、様々な形の留学や海外体験について最新情報をはじめ、アドバイスをを行います。相談は南大沢キャンパスで受け付けていますが、日野、荒川キャンパスの学生は遠隔で対応します。国際センターの教員が、一人ひとりの目的にあった留学を実現するためのお手伝いをします。

予約方法	海外留学の相談は予約が必要です。国際センター・国際課のホームページより、相談内容と日時を確認し、該当する教員までメールにて連絡してください。予約の際には、件名を「海外留学相談」とし、本文には氏名、所属、学年とともに、相談内容の概要と希望日時を第1希望から第3希望まで記載してください。 URL : http://www.ic.tmu.ac.jp/study_overseas/consult.html	
場所	南大沢キャンパス：国際交流会館2階210号室、担当教員研究室 日野、荒川キャンパス：遠隔対応可	

*交換・派遣留学応募予定の学生の方は、応募前に海外留学相談室への相談が必要となります。応募期間中は多くの方が来室し、必ずしも希望の時間帯に予約が取れないこともあるため、応募期間の開始から3週間前を目安に相談予約の連絡をすることを推奨します。

(3) 海外留学体験報告会

交換留学や国際交流に興味のある学生向けに、海外留学体験報告会を開催しています。実際に交換留学で派遣された先輩の体験談を聞くことができます。時期は、交換留学募集時期に合わせて、4月と10月を予定しています。詳しい情報は、国際センター・国際課ホームページ及び掲示板で確認してください。

(4) Kibaco「海外留学協定校情報」ページ

国際センターでは2018年度より本学 e ラーニングシステム Kibaco を利用した海外留学協定校情報を開始します。各協定校別の語学・学力要件等の詳細情報に加え、帰国生の報告書等、留学先の選定に役立つ情報がアップロードされます。科目名は「海外留学 協定校情報」です。交換留学を考えている学生は必ず Kibaco から授業自己登録を行うようにしてください。自己登録の方法は本ブックレットの10ページをご覧ください。

(4) 海外留学情報メーリングリスト

海外留学、国際交流に興味のある方に向けて、学内外のイベント情報を配信しています。登録を希望の方は studyabroad@tmu.ac.jp に「ML登録希望」と書いてメールを送ってください。

2 留学に向けた計画と準備

(1) 学業成績 GPA

海外大学への留学条件として、本学の学業成績が非常に重視されます。また、派遣候補者選考においても考慮される要素となります。成績は日ごろの積み重ねであり、応募要件に GPA が含まれている協定校もあるため、しっかりと取り組む必要があります。

(2) 語学力判定・向上

留学先で英語による授業科目の受講を希望する学生は、出願の際、IELTS 又は TOEFL iBT のスコア証明書の提出が求められます。英語以外の授業科目の受講を希望する学生は、当該言語の能力を示すスコアを応募時に保有している場合に提出することになります。

- ◆IELTS 試験学内受験：本学では年に 2 回、英語検定協会による IELTS 試験の説明会を実施し、また団体向け IELTS 試験を学内で実施しています（2018 年度：4 月 21 日、9 月 29 日予定）。試験の結果は交換留学・派遣留学募集締切に間に合うように発行されています。
- ◆留学英語講座実施：英語力向上のため、ネイティブまたはバイリンガルの講師による、複数の留学英語講座を実施しています（前期 5 月～9 月、後期 10 月～3 月）。

2018 年度前期実施「海外留学のための英語講座」(例)

IELTS 対策講座 <small>試験の各セクションの問題形式の説明から始め、Speaking, Writing の演習を中心に行います。</small>	IELTS スピーキング講座 (レベル別)	(中級) スコア 5.5・(上級) スコア 6.5 を目指して、スピーキング・セクションの各タスクの演習・対策を行います。
	IELTS ライティング講座 (レベル別)	各タスクにあわせて演習を行います。講師による添削やフィードバックを基にライティングスキルの向上を目指します。
	IELTS 模擬試験+対策	春休み・夏休みの試験直前に模擬試験を行い、各セクションの演習・対策に加え、具体的な受験のコツを身に着けます。
	IELTS 模擬試験	本番さながらの模擬試験を受け、学習の成果を測ります。目標スコアまでの進捗チェックに活用してください。
	IELTS ライティング個別指導	添削やフィードバックによる IELTS 試験ライティングセクションの個別指導 (通信)
留学英語講座 <small>海外大学での授業履修のためのアカデミック英語スキルや必要な実践英語 (日常会話など) を身に着けます。</small>	アカデミック・ライティング講座	留学先での必要なエッセイの執筆スキルを身に着けます。(課題添削あり)
	セミナースキル講座 (レベル別)	留学先での授業履修の際の適切な表現やディスカッション・ディベートやプレゼンテーションスキルの習得を目指します。
	キャンパス・イングリッシュ講座	留学先の大学での日常会話などの必要な実践英語を中心に学びます。

詳しくは国際センター・国際課ホームページを確認してください。

留学前に受けてみよう! ~全学共通授業科目~

言語科目：留学先での現地語を学んでみよう!

英語による授業科目：教養科目群などに英語による授業が開講されています。

☞ 詳しくは「履修の手引」を確認してください。

(3) 留学時期の決定

留学先大学の学年暦や留学先における学修計画によって留学期間 (留学開始時期・終了時期) が異なります。最新の募集要項に記載された協定校の留学期間を確認し本学における履修計画も十分に考慮した上で、留学計画・準備を行ってください。

(4) 留学資金計画

学業成績、語学力と並んで、留学に必要な資金確保のための準備が必要となります。留学に必要な経費として、本学の授業料、往復渡航費、教材費、保険代、生活費 (住居費、食費、お小遣い等) などがかかります。これに加えて、派遣留学の場合は、留学先大学への授業料も支払わなくてはなりません。留学期間や留学先によって必要な留学資金も異なるため、自身の留学計画に応じて綿密な資金計画を立てましょう。

3 留学が決まったら

(1) 学内手続き

以下の書類を国際課に提出してください。所属学部・系・研究科での教授会審議を経て、正式に留学が決定します。

- ① 留学申請書（様式1）
- ② 保証人同意書（様式2）
- ③ 履修計画書（様式5）

※書式については別途国際課より案内します。

(2) 留学手続き

- ① 留学先の資料収集：留学先の出願書類を入手します。留学先大学のホームページより資料の請求、及びダウンロードすることができます。
※交換留学及び派遣留学希望者は、大学より必要書類について連絡しますので必要ありません。
- ② 出願手続き：出願に必要な書類を全て準備し、書類の記入漏れや不足書類がないか確認します。書類が揃ったら、留学先大学へ郵送又はオンラインで申請します。
- ③ 滞在先の確保：滞在方法は、学生寮やホームステイ、シェアハウスなど様々ですが、学生寮に滞在を希望する場合は、早めに申込みをする必要があります。先着順に寮が埋まってしまうことがありますので、出願と共に申込方法や締切日等を確認しましょう。
- ④ 入学許可書の受取：大体2～3ヵ月後に入学許可の可否が通知され、入学が許可された場合、入学許可書が届きます。

(3) 出発前にしておくこと

- ① ビザの申請：ビザ（査証）とは、国家が申請した外国人が入国・滞在しても差し支えないと示す証書で、大学や語学学校等に通う場合は、一般的に「留学ビザ」を取得します。ビザ取得のために必要な書類や手続き方法などは、派遣先の国ごとに異なりますので、事前に在外公館（大使館・領事館など）に問い合わせ、最新情報を確認してください。

ビザ申請に必要な書類

一般的に必要なもの

・申請書 ・パスポート ・入学許可書 ・財政能力証明書（預金残高証明書、奨学金支給証明書など） ・申請料

国・地域によって必要なもの

・健康診断書 ・往復航空券のコピー ・戸籍謄（抄）本 ・住民票 ・滞在先（宿泊先）証明書 ・保険加入証明書
・無犯罪証明書・保証人による保証書・留学の理由書、志望動機書・語学能力証明書・卒業（在学）証明書・成績証明書

- ② 健康診断、予防接種：留学先大学等によっては、健康診断書の提出を求められることがあります。健康診断書の提出を求められない場合でも、自分の健康状態を把握するために受診しましょう。また、留学先国や大学等から、予防接種を要求されることがありますので、必要に応じ受けてください。内容は各大学・機関により様々ですが、日本で決められた予防接種とは種類や回数が違う場合や、渡航日前の期間を設定されている場合などもあるため、早めに内容をチェックし、必要に応じて抗体検査や予防接種の計画を立てましょう。
- ③ 海外留学保険（留：大学からの海外留学・海外短期研修においては、海外留学保険（治療・救済費用：無制限）への加入が必須条件となっております。留学先へは、保険証書及び付保証明書（英文）を持参してください。私費・休学留学で渡航する方も加入を強く推奨します。
- ④ 留学生危機管理：本学の海外留学・海外短期研修においては、Overseas Student Safety Management Assistance（OSSMA）へのサービス（OSSMA）加入も必須条件となっております。OSSMAに加入することで、平常時には、24時間日本語による各種電話相談・問合せサービス（OSSMA Helpline Support）、危機時には、学生本人のトータルアシスタント（医療のみならず盗難、航空機遅延の対応、メンタルケアもサポート）などを受けることができます。

(4) 事前研修

留学が決まった学生やこれから留学を計画している学生を対象に、年3回程程度の事前研修を開講しており、国際センター教員が、異文化対応についての説明や留学中の危機管理などについて、ケーススタディやシミュレーションを交え、留学生生活をスムーズにスタートできるよう指導を行います。また、キャリア支援課の就職支援担当者から、留学と就職活動の両立についてのお話も伺うことができます。海外短期研修参加者については、プログラムごとに出発前オリエンテーションを実施し、研修参加の心構え、出発前の準備、渡航や研修先での生活にあたっての注意事項、危機管理に関する指導、情報提供を行っています。

留学中

1 意識を「海外モード」に切り替えよう

日本では夜に道を歩いても身の危険を感じることは少ないでしょう。しかし、日本で生まれ育った皆さんにとってのこの「当たり前」は、一歩海外に出たら通用しないと考えてください。日本で培われた皆さんの価値観や常識は、すべてが日本独自のものであります。

日本での生活に慣れ親しんだ日本人が海外へ出向いた際には予想もしない事件や事故に巻き込まれるケースが非常に多く見受けられます。海外では、日本と違った危険が待ち構えており、常に事件や事故と隣り合わせの環境にいるといっても過言ではありません。

2 到着後すぐにすべきこと

在外公館への在留届提出と危機情報の把握

3か月以上外国に滞在する日本人が災害やテロ等の緊急時の安否確認、退避の手配などの連絡・保護が在外公館から受けられるように、旅券法により「在留届」の提出が義務付けられています。

- 【在留届】・用紙は、各都道府県の旅券窓口、海外では、在外公館で入手できます。
 ・外務省のホームページからPDFファイルでダウンロードもできます。(インターネットでも「在留届」の提出ができますので、外務省のホームページで確認してください。)

※ 3か月未満外国に滞在する日本人については、「たびレジ」に登録することが必要です。

3 留学中にすべきこと

(1) 留学先等での危機管理体制の把握

留学先大学で留学生に向けたオリエンテーションが開催される場合は、必ず参加してください。留学先大学における危機管理に関する情報収集を行い、緊急時の対応・対策と連絡システムは必ず把握して、メモを携行しましょう。

(2) 本学への定期連絡

交換留学・派遣留学など中長期の留学をする場合は、月1回、在籍確認書兼月次報告書を提出してください。

(3) 安否確認

毎月、留学生危機管理サービス (OSSMA) から安否確認のメールが届きます。受け取ったら必ず返信し、安否を知らせてください。

4 危機に遭遇した場合

(1) 緊急時の連絡と緊急対策

留学中、危機に遭遇し自己解決が不可能と判断された場合、各自の判断に従って救援・援助を求めてください。危機の種類や大小、その状況によって、連絡の順序は異なります。たとえば盗難の場合は警察と保険会社への連絡、テロや自然災害などの場合は留学先大学や在外公館(日本大使館・領事館)の指示に従うことが必要になります。

どこに援助を求めたらよいのか自己判断が難しい場合、まずは留学先大学の担当部署に相談してください。現地での解決を試みるのが先決ですが、必要な場合は、留学生危機管理サービス (OSSMA) へ連絡し、指示を受けてください。

このような場合に備えて、必ず、留学先大学および首都大学東京の緊急連絡先、滞在国や滞在地域の警察・救急・消防署、日本大使館・領事館の連絡先メモを携行してください。また、定期的に家族・保護者に連絡をとることも忘れないでください。滞在地で大きな天災や事件・事故が起こったような場合、日本のご家族はみなさんの安全が確認できるまで、生きた心地もしない中で連絡を取り続けることでしょうか。そのような場合、状況が落ち着き次第、ご家族へ、また大学へも、ほんの一言のメールでもよいので、安全確認のご連絡をお願いします。

(2) 外務省等国内機関によるサイト

- | | | | |
|----------------|---|-----------|---|
| ○外務省 | http://www.mofa.go.jp/mofaj/ | ○日本在外企業協会 | http://www.joea.or.jp/ |
| ○外務省海外安全ホームページ | http://www.pubanzen.mofa.go.jp/ | ○国際協力機構 | http://www.jica.go.jp/seikatsu/ |
| ○海外邦人安全協会 | http://www.josa.or.jp/ | | |

留学後

1 留学後の事務手続き

(1) 帰国後の提出書類

帰国後、速やかに下記の書式を国際課まで提出してください。

- ① 留学帰国届
- ② 経済支援終了報告書
- ③ 留学先大学の成績証明書（写し）〈履修科目名、成績、単位等が記載されている資料〉
- ④ 奨学金受給者のみ 航空券半券（往復分）、在籍確認書兼月次報告書（原本）

(2) 単位認定の手続き

帰国後に単位認定の申請をするためには、次の準備が必要です。

- ① 単位認定願の提出（様式は国際センター・国際課ホームページより入手）
- ② 留学先大学より発行された成績証明書（写）
- ③ 単位認定を希望する科目のシラバス（留学先大学より入手）
- ④ その他、所属の学部・系・研究科が指定するもの

2 事後研修

本学の留学制度を利用して留学した学生は、事後研修や報告会への出席が必須となります。事後研修は、学生自身の留学経験を改めて振り返り、今後の進路に役立てるための学びの機会となります。帰国報告会にて海外留学経験についての報告を行うとともに、報告書作成をしていただきます。帰国報告会では、海外留学による自らの成長を確認し、他の学生たちの留学先における学びを共有することになるとともに、今後、海外留学を希望する本学の学生にとっても留学経験の報告は非常に参考になりますので、必ず参加してください。

3 効果測定

本学の留学制度を利用して留学した学生は、留学の効果測定の一つとして、留学先大学の授業受講言語の語学試験を必ず受験してください。可否を判定する試験の場合は、留学前に受験した級よりも高い級の試験を受験してください。（すでに留学前に最も高い級に合格している場合には、語学試験の受験は免除となります。）

受験費用の補助として、補助金額上限までの受験費用実費額が支給されますので、詳細については国際課に確認してください。

参考情報

1 学内情報

首都大学東京 国際センター・国際課ホームページ <http://www.ic.tmu.ac.jp/index.html>

本学の海外留学制度、協定校紹介をはじめ、国際センター主催の英語講座、イベント等の情報が掲載されています。

2 奨学金

日本学生支援機構 海外留学のための奨学金情報 http://www.jasso.go.jp/ryugaku/study_a/scholarship.html

日本学生支援機構、地方自治体、外国政府、民間団体等による海外留学奨学金情報が掲載されています。

官民協働海外留学支援制度～トビタテ！留学 JAPAN 日本代表プログラム～ <https://tobitate.jasso.go.jp/>

3 海外留学イベント情報（学外）

日本学生支援機構、公的機関等主催 海外留学イベント <http://ryugaku.jasso.go.jp/event/>

4 就職関連情報

就職活動については、本学のキャリア支援課に相談のうえ、海外留学準備と並行して情報収集を行い、将来の進路に向けて準備を進めてください。下記サイトは、海外留学経験者を対象とした就職イベント案内、情報を掲載しています。

DISCO キャリアフォーラム http://www.disc.co.jp/service/global/careerforum_jpen_bilinguals.htm

マイナビ国際派就職 <http://global.mynavi.jp/>

5 語学試験

協定校によって指定する語学試験、語学基準が異なりますので、留学を希望する協定校の指定する語学試験、語学要件を確認したうえで試験の受験準備を進めるようにしてください。

【英語】

IELTS（アイエルツ：International English Language Testing System）	
概要	英語圏（特に英国、豪州、カナダ）の大学が語学力テストとして重視している。大学に進学を希望する学生を対象にした語学力テスト。
留学の目安	5.0～6.5
試験内容	リスニング 30分（問題数約40問）、リーディング 60分（問題数約40問）、ライティング 60分（問題数2問）スピーキング 15分から20分の3セクションに分かれている。
URL	財団法人日本英語検定協会 http://www.eiken.or.jp/ielts/index.html
TOEFL（Test of English as a Foreign Language）iBT（Internet Based Test）	
概要	主に米国の大学が重視している英語能力を測定する語学力テスト。リスニング、リーディング、スピーキング、ライティングの各スキルを評価する。
留学の目安	60～80
URL	Educational Testing Service http://www.ets.org/toefl

【フランス語】

TCF フランス語能力テスト (フランス国民教育省認定)	
概要	リスニング、文法と語彙、リーディングの試験内容。有効期限は2年間。
留学の目安	レベル3
URL	教育研究国際センター (CIEP) http://www.delfdalf.jp/
DELF/DALF フランス語資格試験 (フランス国民教育省認定)	
概要	基本的に春と秋の年2回実施。リスニング、リーディング、ライティング、スピーキングの能力レベルで評価する。有効期限は無期限。
留学の目安	レベルB1
URL	教育研究国際センター (CIEP) http://www.delfdalf.jp/
TEF フランス語能力検定試験 (フランス国民教育省認定)	
概要	フランスの大学編入や国際機関派遣制度で採用。年3回実施。実生活で要求される語学力を評価する。理解力を測定する必須試験と表現力を審査する試験がある。
留学の目安	レベル3
試験内容	理解力：読解、リスニング、文構成・語句の3部門の必須試験 表現力：筆記テスト、口頭の2部門のオプション試験
URL	TEF 事務局 http://ccfj.com/talk/tef/index.html
DAPF 実用仏語技能検定試験	
概要	日本人学習者を対象として、文部科学省及び在日フランス大使館文化部の後援。春と秋の年2回実施。
留学の目安	準2級～3級程度 (*University of Rennes2: 留学時期が1, 2年の場合 3級)
試験内容	DAPF 3級レベル (基礎の総まとめ)：リーディング、ライティング、リスニング、文法知識の試験内容。
URL	公益財団法人フランス語教育振興協会 http://apefdapf.org/

【ドイツ語】

ドイツ語技能検定試験	
概要	年2回、6月 (出願時期4月～5月中旬) と11月 (出願時期9月～10月中旬) に行われる。
留学の目安	レベル2級から3級
試験内容	1次試験 筆記、リスニング 2次試験 (1級と準1級) スピーキング
URL	公益財団法人ドイツ語学文学振興会 http://www.dokken.or.jp/
TestDaf (Test Deutsch als Fremdsprache)	
概要	主にドイツの大学への留学希望を対象としたドイツ語力判定テスト。日本では、ドイツ文化センターと独協大学が試験会場となっている。
留学の目安	B2 (TDN3) ～ C1 (TDN4)
試験内容	読解、聞き取り、筆記、口頭
URL	東京ドイツ文化センター http://www.goethe.de/ins/jp/ja/tok.html 独協大学 http://www.dokkyo.ac.jp/shiencenter/shiencenter03_06_01_j.html

【スペイン語】

DELE スペイン語検定試験（スペイン文部省認定）	
概要	年3回実施 試験時期：5月（出願時期2月～4月上旬） 7月（出願時期2月～6月上旬） 11月（出願時期2月～10月中旬）
留学の目安	レベルB1～B2程度
試験内容	筆記試験（読解、聴解、作文）・口頭試験（面接）
URL	http://tokio.cervantes.es/jp/dele_diplomas/information_diplomas_spanish.htm

【中国語】

中国語検定試験	
概要	年3回実施。リスニング（選択式・記述式）と筆記試験（選択式・記述式）。録音によるリスニングを課し、特に準1級、1級では、リスニングによる書き取りが行われる。簡体字の使用が原則。
URL	一般財団法人日本中国語検定協会 http://www.chuken.gr.jp/
HSK 漢語水平考試	
概要	中国内外で中国語能力の公的証明として通用する資格。中国語を用いたコミュニケーション能力の測定に特化し、細かく6段階に級分けされている。聞き取り、読解、記述それぞれの分野別にスコア点数で結果が出る。
URL	HSK 日本実施委員会 http://www.hskj.jp/

【韓国・朝鮮語】

S-TOPIK（一般韓国語能力試験）	
概要	大韓民国政府が認定・実施する韓国語試験。年3回実施。韓国文化の理解及び留学などの学術的正確に必要な能力の測定・評価を目的とする。初級（1・2級）、中級（3・4級）、上級（5・6級）の3つから選択。
試験内容	語彙・文法、書き取り（作文を含む）、聞き取り、読解
URL	公益財団法人韓国教育財団 http://www.kref.or.jp/examination
ハングル能力検定試験	
概要	年2回実施。日本で初めて行われた韓国・朝鮮語の検定試験。日本で6番目の外国語検定試験として、1993年より実施。日本語を母語とする学習者に特化した検定試験。南北いずれの正書法も認定し、コミュニケーション能力を重視。聞き取り・書き取り試験。1級、2級、準2級、3級、4級、5級の間で選択。
URL	NPO 法人ハングル能力検定協会 http://www.hangul.or.jp/about/

※試験の詳細については、各主催団体のホームページを参照のうえ、お問い合わせください。

首都大学東京 派遣実績

派遣留学生数

①派遣留学生数推移

(単位：人)

		23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
中長期 (3ヶ月超～1年以内)	学生交換協定等に基づく留学	7	4	10	29	33	32
	その他※	－	－	12	19	23	27
	小計	7	4	22	48	56	59
短期 (2週間以上～3ヶ月以内)	海外短期研修	37	58	66	65	88	92
	その他※	－	－	50	56	56	60
	小計	37	58	116	121	144	152
学部		31	48	108	126	166	175
大学院		13	14	30	43	34	36
合計		44	62	138	169	200	211

※その他：各部署で実施するプログラムによる派遣留学等（24年度まではデータなし）

②学生交換協定に基づく交換留学生数

(単位：人)

国・地域名	大学名	受入						派遣					
		23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
タイ	チュロンコン大学	－	－	－	0	0	1						0
マレーシア	マレーシア工科大学	－	－	－	3	5	3	－	－	－	5	0	0
	マラヤ大学	－	－	－	－	0	0	－	－	－	1	1	0
	マレーシアアプトラ大学	－	－	－	0	0	3						0
	マレーシア国民大学	－	－	－	－	0	2	－	－	－	－	－	1
インドネシア	インドネシア教育大学	－	－	－	－	－	2	－	－	－	－	－	0
香港	香港城市大学	－	－	－	－	－	4	－	－	－	－	－	0
韓国	中央大学校	－	3	1	2	0	1	－	0	0	1	0	0
	漢陽大学	－	－	－	－	0	1	－	－	－	－	－	0
	ソウル市立大学校	－	1	3	1	2	3	－	－	0	1	0	1
	金烏（クモ）工科大学校	0	0	0	0	1	0	－	－	－	－	0	0
	仁川大学	－	－	－	－	0	2	－	－	－	－	－	0
	全南大学校	－	－	－	－	2	1	－	－	－	－	0	0
	淑明女子大学校	－	－	－	－	0	0	－	－	－	－	1	0
中国	首都師範大学	－	－	－	－	－	5	－	－	－	－	－	0
	吉林大学	－	－	－	－	－	2	－	－	－	－	－	0
	華南理工大学	－	－	－	－	－	2	－	－	－	－	－	1
	華東政法大学	－	－	－	－	－	3	－	－	－	－	－	0
台湾	中国文化大学	－	2	2	2	2	2	－	－	1	－	0	0
	国立台湾師範大学	－	0	2	6	3	5	－	－	0	－	2	0
	天主教輔仁大学	－	－	－	2	2	1	－	－	－	1	1	1
	国立東華大学	－	－	－	－	2	1	－	－	－	－	0	0
トルコ	サバンチ大学	－	0	1	0	0	0	－	2	1	2	3	0
オーストラリア	エディス・コーワン大学	1	3	2	2	2	2	3	0	0	4	2	0
	マッコリー大学	1	0	6	9	4	4	0	0	1	1	0	0
	ニューカッスル大学	－	－	－	－	2	1	－	－	－	－	0	0
アメリカ	マーレイ州立大学	－	－	－	－	－	2	－	－	－	－	1	0
	ウィスコンシン大学グリーンベイ校						4	－	－	－	－	－	0
	イースタン・ワシントン大学	－	－	－	－	1	1	－	－	－	－	1	1
カナダ	ニューファンドランドメモリアル大学	－	－	－	－	0	0	－	－	－	－	1	0
	セント・メアリーズ大学							－	－	－	－	－	1
	レジャイナ大学							－	－	－	－	－	1

フィンランド	ユバスキュラ大学	-	-	1	2	3	5	-	-	-	3	2	2
スウェーデン	ウメオ大学	-	-	-	-	4	2	-	-	-	-	2	2
ノルウェー	ブスケルド・ヴェストフォル大学	-	-	-	-	1	0	-	-	-	-	0	0
	サウスイースト・ノルウェー大学	-	-	-	-	0	0	-	-	-	-	1	0
イギリス	バンガー大学	-	-	1	2	2	1	-	-	-	1	0	1
	キール大学	-	-	-	-	1	0	-	-	-	-	0	0
	レスター大学	-	-	-	-	0	0	-	-	-	-	1	2
	ノッティンガム大学	-	-	-	-	0	0	-	-	-	-	1	0
	ヨーク大学	-	-	-	-	0	0	-	-	-	-	1	0
オランダ	ロッテルダム専門大学	-	-	-	-	3	4	-	-	-	-	0	1
ドイツ	カイザースラウテルン専門大学	-	1	0	0	2	0	-	-	2	-	0	0
	コブレンツ専門大学ビジネス経営学部	-	-	1	4	3	5	-	-	-	2	1	1
	バイロイト大学	-	-	-	-	1	0	-	-	-	-	0	2
フランス	リール第1大学	-	-	-	-	2	4	-	-	-	-	1	2
	レンヌ第2大学	-	-	2	3	2	3	-	-	-	1	4	3
スペイン	アルカラ大学カルデナル・シスネロス校	-	-	0	0	0	0	-	-	1	-	-	0
	アルカラ大学	-	-	-	-	0	2	-	-	-	1	2	1
	ア・コルーニャ大学							-	-	-	-	-	1
イタリア	ローマ大学トルヴェルガータ校	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	2
オーストリア	ウィーン大学	5	3	3	3	3	3	4	2	4	4	1	3
ポーランド	ヴロツワフ大学						1	-	-	-	-	-	2
ハンガリー	オーブダ大学	-	-	-	1	0	0	-	-	-	-	1	0
リトアニア	シャウレイ大学	-	-	-	-	0	0	-	-	0	1	2	0
	日仏共同博士課程	-	-	-	-	0	0	0	0	-	-	-	-
ロシア	トムスク国立大学	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	0	0
	トムスク工科大学	-	-	-	-	1	0	-	-	-	-	-	0
合計		7	13	25	42	55	92	7	4	10	29	33	32

※ 受入・派遣共に、開始期に属する年度にカウントしている。

※ “-” は募集なし

※ 日仏共同博士課程は、日本コンソーシアム協定大学とフランスコンソーシアム協定大学の大学院博士課程に在籍する学生を相互に交換する学生交流プログラム（平成24年度で終了）

③海外短期研修（国際課所管分）

（単位：人）

プログラム名	派遣先	（派遣国）	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
大学院生短期学術英語研修	ジョージタウン大学	（アメリカ）	12	12	8	0	-	-
イギリス夏期英語研修	ロンドン大学アジア・アフリカ学院	（イギリス）	13	10	10	6	8	10
カナダ春期英語研修	ヨーク大学	（カナダ）	-	15	14	15	18	15
	ビクトリア大学	（カナダ）	-	4	5	-	-	-
マレーシア春期英語研修	マラヤ大学	（マレーシア）	-	-	6	8	11	7
	マラヤ大学 ※インターンシップオプション付	（マレーシア）	-	-	7	5	-	-
オーストラリア夏期英語研修	マッコリー大学	（オーストラリア）	-	-	-	12	16	15
オーストラリア春期英語研修	マッコリー大学	（オーストラリア）	-	-	-	14	-	-
夏期中国語学研修	復旦大学	（中国）	-	-	-	5	-	-
春期中国語研修	国立台湾師範大学	（台湾）	-	-	-	-	6	6
タイ夏期英語研修	チェンマイ大学	（タイ）	-	-	-	-	16	20
アメリカ春期英語研修	カリフォルニア大学サンディエゴ校	（アメリカ）	-	-	-	-	13	9
グローバル・シチズンシップ・プログラム	マッコリー大学	（オーストラリア）	12	17	16	-	-	-
夏期ドイツ語研修	ウィーン大学	（オーストラリア）	-	-	-	-	-	10
合計			37	58	66	65	88	92

※ “-” は募集なし

1 インタロダクション

2 ワークシート

3 留学制度

4 留学の流れ

5 参考情報・資料

参考資料

首都大学東京留学生の派遣及び受入れに関する要綱

17 首都大学学第 7 号
制定 平成 17 年 4 月 1 日

第 1 章 総則

(目的)

第 1 条 この要綱は、本学と外国大学等との間における学生の国際交流に関する協定又は協議に基づく留学生の派遣及び受入れに関し、必要な事項を定めることを目的とする。

(定義)

第 2 条 この要綱において、次の各号に掲げる用語の意義は、それぞれ当該各号に定めるところによる。

- 一 留学 首都大学東京学則（以下「学則」という。）第 29 条又は首都大学東京大学院学則（以下「大学院学則」という。）第 17 条及び第 20 条の規定に基づき、学長の許可を受けて行う留学をいう。
- 二 外国大学等 外国に所在する大学、大学院及びこれらの学部、学科等並びにこれに準ずる高等教育研究機関をいう。
- 三 協定校 学長と外国大学等を代表する者との間で学生の国際交流に関する協定を締結した場合の相手校（当該相手校が学修に先立ち言語教育機関を指定した場合の指定された言語教育機関を含む。）をいう。
- 四 継続履修 学則第 36 条により、学生が留学期間に履修していた授業科目を留学期間終了後引き続き履修することをいう。

第 2 章 留学生の派遣

(教授会の推薦)

第 3 条 留学を希望する学生は、その所属する学部の教授会等（大学院生の場合にあつては、研究科教授会等。以下同じ。）の推薦に基づき、学長の許可を受けなければならない。

- 2 学生が協定校以外の外国大学等への留学を希望する場合には、教授会等は当該外国大学等との協議の内容を確認したうえで前項の推薦を行うものとする。
- 3 教授会等が第 1 項の推薦をするにあたっては、留学を希望する学生について、あらかじめ担当教員を定めておくものとする。

(履修状況の報告)

第 4 条 学生は、留学先における履修状況その他教授会等の定める必要な事項について、担当教員を通じて定期的に所属の教授会等に報告しなければならない。

- 2 学生は、留学期間終了後所定の期間内に、留学中の履修成果その他必要な事項について、所属の教授会等に報告しなければならない。

(単位の認定)

第 5 条 留学期間中に外国大学等で修得した授業科目の単位の認定を申請しようとする学生は、あらかじめ留学中の履修計画を教授会等に届け出て、その承認を得ておかななければならない。

- 2 前項の承認を得た学生は、留学期間終了後ただちに、単位認定を希望する授業科目の成績証明書その他所属の教授会等が定める必要な書類を教授会に提出しなければならない。

(継続履修)

第 6 条 学生が継続履修を希望する場合は、別に定めるところにより、指定された期日までに、当該科目の担当教員の承認を得たうえで、教授会等に届け出なければならない。ただし、首都大学東京教務委員会規程（以下「教務委員会規程」という。）第 11 条に規定する科目については、首都大学東京教務委員会基礎教育部会（以下「基礎教育部会」という。）に届け出るものとする。

(26 首都大管国第 1335 号・一部改正)

(基礎教育部会)

第7条 学生が前2条の規定に基づき、単位認定又は継続履修を希望する場合において、当該科目が教務委員会規程第11条に規定する科目であるときは、あらかじめ基礎教育部会の審議を経るものとする。

第3章 留学生の受入れ

(受入れの決定)

第8条 協定校からの留学生の受入れは、当該協定校の推薦に基づき、所属が予定される学部の教授会等（大学院への所属が予定される場合にあっては、当該研究科の研究科教授会等。以下同じ。）の議を経て、学長が決定する。

2 所属予定学部の教授会は、受入れにあたってあらかじめ指導教員を定めて学長に報告するものとする。

(受入れ留学生の身分)

第9条 前条の規定に基づき協定校から受け入れる留学生の本学における身分は、首都大学東京研究生規則又は首都大学東京科目等履修生規則の定めるところにより特別研究学生又は特別科目等履修生とする。

2 特別研究学生及び特別科目等履修生は、原則として本学正規学生と同等の権利を有し義務を負うものとする。

3 特別研究学生及び特別科目等履修生として受け入れる時期及び期間は、それぞれ当該協定校との間の協定に定めるところによる。

(特別研究学生)

第10条 特別研究学生は、指導教員が特定事項の研究指導のため学部又は大学院の授業を受講することが必要と認めるときは、あらかじめ授業担当者の許可を得て、当該授業を受講することができる。

2 特別研究学生が研究期間満了までに、本学における研究の成果報告を、指導教員の承認のもとに所属研究科に提出したときは、研究科教授会等の審査に基づき、研究修了証明書を交付することができる。

(特別科目等履修生)

第11条 特別科目等履修生は、指導教員の指導に基づき、所属の学部又は研究科の授業科目を履修することができる。

2 特別科目等履修生は、所属の学部又は研究科以外の学部又は研究科の授業科目についても、あらかじめ授業担当者の許可を得た場合には、当該授業を履修できる。

3 特別科目等履修生がその履修した授業科目について単位を修得したときは、その申請に基づき、単位修得証明書又は成績証明書を交付する。

第4章 その他

第12条 留学する本学学生及び協定校より受け入れる留学生は、本学学則その他学内規程の他、当該外国大学等の規則を遵守しなければならない。

2 留学する本学学生及び協定校より受け入れる留学生が前項の規定に違反したときは、学長は、所属学部教授会等又は研究科教授会等の議を経て、留学の許可又は受入れ許可を取り消すことができる。

第13条 この要綱の実施に関し必要な事項及び様式は、学長が別に定める。

附 則（平成17年4月1日付17首都大学学第7号）

この要綱は、平成17年4月1日から施行する。

附 則（平成23年3月31日付22首都大管国第703号）

この要綱は、平成23年4月1日から施行する。

附 則（平成27年3月31日付26首都大管国第1335号）

この要綱は、平成27年4月1日から施行する。

海外留学ブックレット 2018

平成 30 年 4 月発行

発行 首都大学東京国際課

東京都八王子市南大沢一丁目 1 番地

〒192-0397 電話 (042) 677-2047

印刷 三鈴印刷株式会社